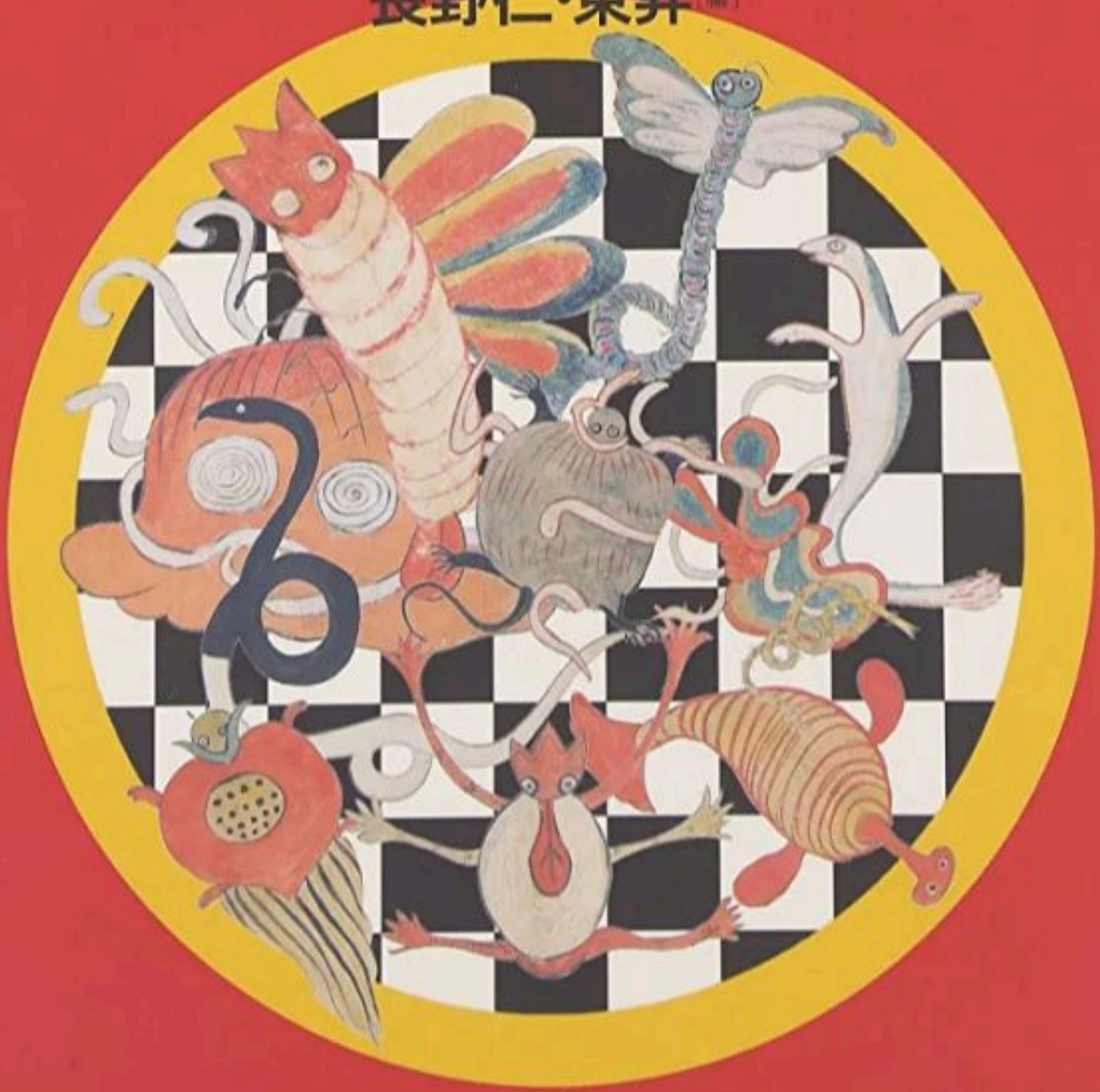
戦国時代の
ハラノムシ

『針聞書』のゆかいな病魔たち

長野仁・東昇［編］



国書刊行会

Muy buenas a todos los que lean esto

Este libro se titula, hasta donde he podido averiguar, Harikikigaki, un manuscrito que fue escrito hace muchos años, por lo cual está en un Japonés muy antiguo, realizado por un médico del antiguo Japón del siglo XVI, el cuál, a día de hoy, es completamente desconocido.

Este libro, aún así, fue de los primeros en especular la existencia de virus, gérmenes, parásitos y demás, además de como estos afectan a nuestra salud.

Dicho esto, el libro fue dejado en su idioma original debido a que traducirlo sería un trabajo realmente complicado, además de que arruinaría su toque antiguo y místico, más, si el lector así lo desea, siempre puede intentar averiguar que es lo que ocultan estás notas tan viejas.

Esto está hecho con fines de entretenimiento y sin afanes de lucro, todo para hacer que esto llegue a personas habidas a la lectura de evolución especulativa, gracias por leer y espero les agrade

— Snowy owl

針聞書

一 丈人ニ天人地ノ三気ニ左乳ヨリ上ヲ天トス胸ヨリ臍迄ヲ為人臍ヨリ足迄ヲ為地天ノ気ヲハ手カルニ立発散ニ心左中ハ針モ甫ヲモリルシカラス

二 後重旨前ハ針ヲ上ニ分ヒルヨリ後ハ針ヲ下ニ分ルハ是陰陽陸也

三 春夏ハ陽成間針モ浅ク秋冬ハ陰成乃針ヲ深クス也生ヲ去ル傳ヲ

四 五月ハ陰生月也十月ハ一陽生也

五 男ハ陽成間気ヲ外ニ左ニテ手軽ク針浅ク也

六 女ハ陰気内ニ甚キ故ニ重ク入テ針ヲ

七

深ク立ル也

死ス針ニ灸胸ノ中ヘスヘカラス一寸四五分

許リ立ヘシ灸スレハ必死ス也肩甘

骨ノ上ヘカラス深針ヲ立レハ必死ス也肩甘

膝ニモカカト足ノツフレノ内脉ノウチ前ハ深

ク立ル也五臓ノツチノ人ノ脉ノウラノ面ニノミ也

八

五病一如ニシテ針ノ害前胸ノ中ニテンチヨ

両ノ脇一寸ヨリ内ヘ灸スヘカラス鳩尾ノ下ニ至テ後ハ七ノ

髄ノ中ヘ深ク立ヘカラス其ヨリ両方ヘラノヲノ

一寸ヨリ外ヘ灸スヘシ但シ百会ニ深ク心ニツカニ立ル

ヘシ病ノ一生アルニカキラスサウニウニモチユ

トコロニ立レハ必病ヲカルヘシ

九

諸病表ニ至ルニシタカヒ脉浮沈チヤリ

ニテ寒熱ヲ治ヤ輕リシニテ痛ハ表ニ在リ重リシニテ痛ハ裏ニ在リ裏ハ針モ深ク表ハ發散ヤリハ瀉ヘ口傳ヌ

十 氣實ニメ上ニ在ハ瀉ヤ

土 病者氣弱キ人ナラハ先補スヘシ後ニ下シ去結セハ先瀉セヨ虛セハ先瀉ヨリテ和ケスシ

土 諸病ニテ心ヨキハ虛ラシテイタキ寒ヤ

土 病者氣カヨキ人ナラハ針ヲ深ク刺トモイルシカラス氣カヨワキ人ナラハ針ヲアサク立ルヤ

古 窓心ニ針ヲ淺ク立補食後ハ深瀉

玉 先我氣ラレツテ心ヲ針サキラキ病人ノ目ニ置ヘカラス

十六 扁鵲之針治ハ穴ニ不拘
十七 針ヲ按ル跡ヲ才妥補ノ吊傳ヲ
十八 針ヲ立ル入ヌメ有德妥針ニテノヲシ上カハラ
ノキラメヲ又補メヨキハ補ノ瀉ニ而ヨキハ瀉ノ
是気ヲ送ル又ハ一陰一陽ノ心有也
十九 針ヲ按ル痕ヲ其侭置妥發ル瀉
カンノ也
廿 針ヲ按ル痕ヲサスル妥気血疾ヲ治スル又也
廿一 針ヲ按ル痕和妥タンヲエルス血ヲ順ニ脈
ニ痛ヲ心又右痃癖ナト五痺中風ニ吉
廿二 補瀉メヲクトハ跡ヲシノロノロトサスリテヲシ和ケ
又針ヲ二ツ三ツ立ル一ニヲシレテ皮ヲヒキヲサヘ置
ヲ和ケ上モ云也

引ケツスルヲ而ノ瀉也

廿一 一度アケハイヨノ立ツシ引アテハイモナリ立テ引ワケトスルヲ也

廿二 針ヲシロヲツムルヲ陽也通ヒヲ補也

廿三 陰ニハ針ヲ立テ陽ヲ針ヲ寝テ陽ニ針ヲスルヲ九病ハイヅレ期ナカラン

廿四 病人ヲ色ヲ見ル病ヲ有ヲ見テ何レノ腧腧ニ至テ瀉ヲ補ヲ施ス處要ヲ知ル者ヲ

廿五 一度補スルハ表ニ度裏ニ度補スルハ裏ニ度表ニ度補スルヲ也

腎肝補スル心 垂數ヲ別ヲ心肺ノ府腎肝腧ニ至テ補瀉ヲホトコスヘシ

廿六 毛ヲ穴ヲ立ヲ發散トス百會ヲ間發散ヲ針トハ瀉ヲ意也瀉ノ針ハ二ヲ補ノ針トハ陽也契

廿三 針スル前ニイヘノ穴ニヲサスルコトトリ和ラテ針ヲ立ル事気ヲトシ気ヲ送定ル法ヲ是補ト

苗 諸ノ陰陽有人ハ前ヲ陰後ヲ陽トス又天人長ミ気トハカシラハ天ニカタトル胸ヨリ脇迄ヲ人トス胸ヨリ下ヲ地トス陰也前ヲ同ク針同ク開

廿四 病人ニ針飽ス程ニ立ヲ補トス

廿五 病人ニ気根ニヨテ立レハ栄衛裏ヲ瀉ス成也

廿六 針ヲ入テ能程立テ少抜アケテ又モトノ程ニ入テ味ヲ立ルヲ補トスル也

廿七 針ヲ入テ其候抜ハ必ス前ノ瀉也

食過テ脇ヨリレハ其前ノ三ツ三ツ程深ニト立テ其候抜ハ合ヲヲス也

廿八 諸ノ病有ヲ入テ味ヲヨクヲシヒシホヘ廿七ニテ其候

ぐ寒也

芫大夏ニ病人ナラハ何ニモ心ヲシツメテ痛ヲ按ニテ別ニ
メ發熱メ胸フトリ月ハシ乳アリース瀉モ同ジ

芒痛秋ニ立痛秋ニ後ク 夏ニ瀉ス者在ハフル
者也

芫先病人ニ尋ル夏結ル脉瀉ル脉ト尋ス

莞熱病ニ夜ル煩脉昼煩カ夜ハ血ノ病ニルハ乳ノ者
芫ニウツラウハ血乳芫ニウツラウス

平方ニ病者左ハ血右ハ乳ニ病人ハ夜ル悪ス
有ル人ハ右ノ脇ヲ女ニテシ血ヲ煩人ハ夜ルヲ專ニ
煩也ヒアル人ハ左ヲ女ニテシ左脇右浮ス數ナラ
大夏ス乳煩人右ノ寸口脉ノ二シルシトロナラハ
大ニ也

一病人ニ数人ヲ兼ル妄久病ハユルケレト其ニヨリ数病ヲ兼ルトモ脈神オノレニカヲナルハ
ナルヘシ

一胸ヨリ上ル針ニ妄股中ニ也妄稍アリテヨリ胸ヨリ下ノ針ニモ妄稍アリテ引者也何レノ脈ニ
モ稍アルヲ目カケテ立也

一難産ニ針ノ妄手足大指ノ内カトニシテヨリ
針一ツニテ立也

一腸閉塞ノ針ノ妄前ハ上ヨリ二ツ中ヨリ一ツ章門
左太衝気ハ衝陽ハ三ノユヨリアサリ立七ノ
推ナノ推五ツ八ツニテハクルシカラス何モ数数
ヘ風ヲ考ヘシモシサラスハ三日ヨリ至テハムキ

熱気入ルヲハキウヒヨリ二寸下トキヤリノ針ヲ可立
サラスレハ下中ニ熱気有モノレニテモサメスレテ
五日六日ニ至ラハ熱気勝有ヌル間瀉ノ針
ヲ立下ヘシ是一定ノ法ニハアラネトモ其身実虚ヲモリ
メ手足陰陽カナヘスハイシトノ勝負ヲト心得テ
何モ補ノ針ヲ立也内熱気ヲ上ヲリ化ニ移ル時
有ヘシ手足冷ユルハキヨリチニリ足ノニリニイン
カウヲ補ニ立ヘシ

一暑気ニ夏支ハ心ノ腠理スルニ依テテンノレヨモ
又心ニツケ是ニ依テ先カレラン發散ス心ノ腠理シ
スヘシリレテ人ヲイカニモアメムルヤウニシテ後ニ
五ノ推ヲニシ心ノ程瀉ノ針ヲ立ヘシ忘スヘシ
モレニ色レリ胸中發散セハトキヤリノ針ヲ立腹

脇ノ処ヲ瀉ノ針ヲ立ヘシ又ヨリ不ヨロシ
テ心ノ補ノ針ヲカシラ痛月リラム妥アルヲ
ハ口コモリメ物イハサル妥アラハ先気付針ヲ
セニ立ル其後イカニモヤハラカニアタヘムベシ

異肺積ハ五臓ノクワイタル而カミヲ主テ気ヲ生
スル也鼻ハ肺ノ穴ナルヲ善悪ノ匂ヲシリ又
クサキ香ヲカリロニ辛味ヲコノム辛ヲ悲シム妥
シナスハ性ハ肺ノ臓ノ気ヲ其色白ナルヘシ脈ハヒヨワ
ナルヘシ是アルヘシ人ハ肺ノ炎トセリ積右ノ脇ヨリ
立也ムナサキヨリラ口ヨリ右ヲ後トスル是ハ何モ針
ヲヤハラカニ浅ク立也気ヲムカヘル按ヲ立也必ヤ月カ
レハ大妥也肺脾モウヨリカケトル故也きうモノ
ヤハラカニ一寸ノ数ニ立ヲシテ一寸両ノ脇ヲ瀉ヲ立也后ハ三ノ

推両方各一寸五分ツヽ針ヲ一ツヽテ三分ヲ立也盛
實ハ補瀉ニヨッテ立ヘシ

○罌心ノ積ノ名ニテフリヤウトスホフノ上ニヲヽテ大ニ生
メルコトシヽウスハ人気ニ至ルヤ面方ノ大サ九間ヲ
キ形ニ依テ血ヲ生ルヤ鼻ハコケクサキヲ香ヲ
カリ也口ニハワラウ夏ヲ司ル色ニカキ物ヲコノム心
ヨリメ面ノ色赤アルベシ是ヲ心ノ病トセリ心ノ
腑ヲスヽメテ積ニモ発散ノ針ヲ立其時モ心ノ
府ヲ補ノ針ニ立アヽメムル也後ノ五ノ推心ノ
ニモ同ニヲヽ四分ヲ発散ノ針ヲ立百会ニ立ヘシ
前ハ中ノ前ニ立腸ハコウ名

○栄肝積ヲハ名テ肝気ト云其形チノ如ニ左脇
ヨリ脇ノウカトサシノホル掌ニカカル夏ニ成ニテ

面ノ色青キ人ハ性ハ東方ノ木ニ応ジ名ヲ
司ル人ヲ降ス夏ヲ好ムスイ物ヲ好ム色油ノ如キ香ヲ
カリ是ヲ見ル人ハ肝ノ病上セリ左ノ積ヲ女ヒサシ
后ハ丸ノ推ヲナス色虚寒ヨリシテ補瀉アルヘシ
善ヲ主スル肝ノ脈ハ絃脈也其時ニ応ヲヒヤスヘシ
黄脾ノ脈ノ積ハ名テヒヤソキトイフ膈ノ上ウリニ
左脈ハクワンニ也心性公平ナル人用ニアテ煩ヒ
ヒサキ味ヲ好也ウタウタウ夏ヲナス面ノ色黄
ニメアラハヒノ病トハ得テ膈ノ上ウリ寸米ヲ方
之結セハ先瀉ヨ瀉セハ先心ヨリ其後虚寒ヲ候テ
補スヘシ補瀉ハヨクヘカ別ス後ニ十二ノ推ヲ
立ヘシ

五十脾積ハ名テホントトイフ脈ハ沈也其形イカ

ハシルカ如シホンノ下ニ左上下ヲ押ナシ仕形方
ノ如ク九間ナル九ニ灸シ可依ニ而ノ灸スベキ処
色白黒ヲミハユキ味ヲ好ロノ内ヲナシ恐ル、
灸ヲ可ス、腎ノ病上セリ、何モ新ニホンノ針ヲ
立腎ノ針ニ瀉ノ針ナレ共下灸ナシ汗ヲ出ス灸
ヲ可故也気ト云ハ六府ノ病ヲ云ニ依テ上ニ万ニ
表ヲ痛也是ハ何モ兼敬ノ針ヲ九ヘシ腎ノ針ヲ
ホンノ下ニすゑ三寸ヲシヨリ下モ痛所ヘシヲナシ
後ヲ十四ノ推ヲシヨリ下ヲ前ト同也

卒ニ脚気ノ針ノ灸フシ下ハ三リ三インカラニサノ上
針ニクヲホト其外ハ痛所ヲアヤムル也
卒ニ結ル灸ホンノニウリ瀉也四ヲニ立也后ヲ十ノ推
瀉ノヲニ立也モシクタラスハ中ヲリ三ツナラヘテ立也

癲病ノ針ノ灸手ノクヒノハウノヨコス千二ツ
有中ヲ五六ヶ所ヲ也日ヲヘテヲコラハシシノ病ヲト
心ヱテ心ノ勝ヲ立ヘシ食物ニ向テヲコラハ肺ノ勝
ヲ立ヘレハリ見物ノ庭ニテヲコラハヒノ病ト心ヱテ
勝ノトウリヲ立ヘシイカル中ニテ起ル肝ノ病ト
心ヱテ肝ノ勝ヲ立ヘシ水ニアフテヲコラハ腎ノカン
ト思テ腎ノ府ヲ本ニ立百会ニヲ二三ヶ所立ヘシ三ノ
ユノ中ヨテノ上ヲ五六ヶ所立又手ノクヒノ下ハ腎ノ門ト通
五狂氣ノ針ノ灸大指ノサキ三ヶ所ヲ立也足ニ同ノ
後ノチリケヲヨンメ百会ニヲ立也
六卒然物ノ変後ノ一ノ骨ヨリ骨ノ前ヲ悉ノカメノ
尾ニテ立トス也百会又五ノスイ骨ノシンヲヲ
立ル也イツモ発散也

辛 頭痛ハ百會ニ本ニ立痛ムヿヲ小ノツク数ヲ立テリ
後ノ風門ヲ立ル也

癸 噦息ノ針天トツキヲヒノ一寸両脇ニカタスヿ左ノ
巳心胸ニ補ノ針ニ立ル也

癸 痲病ノ灸大ニハノ上ニヲノツルノ如リ九ス千アリ
コレラアタル後ハ十両ノ推両方各一寸五分補ヲ
立ル也ヲトカイハヒツ中ノ下ヲト針ニテ是大灸ノ秘傳也

辛 脫肛ノ針ノ灸キカ下ノ穴ヲニツサヒ前ノモニテヲ
補ノ針ニ立百會ニヲ本ニ立也キカイノ穴トハニツ上
イノ下ヲト罘ハカリニリホニ有針フカリサス也

辛 腰氣ノ針ノ下是ノ五リ両方各五分ニ同腰
ハ十両推下クホニ有其ヲ立ベシ前ハホソノ下ニ灸
也アリ其カメニリノ上ニウハカトヲのツハサル極ニ

ロクト云下引ハルスヤ有ラハ其ノ本ニ立也目水上リ此ノツセハ先下板ニ立又下ル物ナカニモ黒ク其人ノ執ヲヲキト思テ此ノ写ノ心エアル(ヘシ又下ル物ヲスリ其人ノ虚シタリト心エヘシ又白キ物ニテヲシメリ心エテナカニモ補スルヘイツレモ腫ノ意セハ補ノ針ヲ二三ケツヽホツノ針ヲ立ル也下虚スレハ必ス上熱スル也而気アカル胸中ニテ發熱セハ先百會ニ灸穀心ノ府ヲヒヤスヘシ其ニ気上リヤスハ章門ニ写ス也

卒ニ癪癖ノ針起ノカタチニテハ一ノ骨ノ下ヲ針立ケンセイヲ一ヲ針両方ヲ立其餘ハ痛スケンサクリテ立也カリカテノ骨ノニウリ死ノ針有大変也ヤウニヲスル間イカニモフセテ立也キモミ若シ卒ニ心気ノ針ノ変肺ニ氣ヲ司ル間先胸下骨ノ両

ノ脇ヲ立灸散シ上ノ如ク中ノ如ク其牙当ヘ名ル所ヲ立
三ノ推五ノ推七ノ推ヘ各ノ間ヲ如ク別メ立也百會
ハ常ニ立スヘーサル也

●卒血産後ノ針ノ妻若物ヲトヲリ残ヲカニ股ヘ先其
痛所ヲ心ヲ附ニヲカリ瀉ノ針ニ立ヲヲニシテ補ノ針ニ
シツカニ立ヒ物必ヲトル也

●空下股ヨリ痛ヲ付フルイ灸熱セハ先百會ヲ本ニ立
其痛所ニフイツモノ所ニテモヒシ心ヲ附ニ立後ノ右推
ヲ本ニ立ヘ如フルイ付所ヲ本ニヘ如別メ補ノ針ヲ立
ヘシ万熱スル時ハ瀉ノ針ニ立也

●空ヘ血甚リノトハ腸ノ二寸ヲヲ深リ刺ニ立補スヘシ
其モ胸ノ脇ニテモヒレイツシノ所ニテモ痛ル処ヲ
本ニ補スル也其ヲ内モ上ハ灸敬スヘシ

変不気ノ針ノ変ヨコチ面ヨリ上一寸ノ間ニケンノ如ノ
ナルアヘタヒラヒラ上ル豹ノ補ノ針ニ立也ノモ浮針ナ
変ス白ノ針ノ変大シハ下ニイカニモ堅リナワル虫アリ
其ラヨシテシテ立アツル也若キウナヒハキンノキシヤハラ
カニニキリユルメニーアシテ鳥ノラサキノクロキシ以テサ
トラシテアトサキラ三ク切テハナツ也イツクモサシ捨
ク切テ放ス虫ホリケル也次ニ手ノフリ也
変痛湯ノ針ノ変脾胃ツキラル間脾腰ラ
ヨクヨクク別メサシ補スベシナノ推シ一寸計立也
七十夜ル小便スル物ハ大シハヨリ一寸上ラ補ノ針ヲ
立中ホリノアタリヲ立也後ハ面ノ推立也
七十一眼目ノ針変目ノアトヨリヨミアリ其ラニク毛シ
タラハ補泉シタラハ浮ニ立也肩モ面ヨシノ〳〵

針一分ハ千ノ中一分又手ノキヨリ千足ノミイン
カウ後ノ風門コレラヲ立也四五分ヲ要ス依テ補
瀉スベシ三ヶ所ヲ熨シテルハ熱ノ目ニハ湯ヲ煬寒ノ目ニ
ハ水ヲ煬也

七十一日中ノ針ノ要腎虚スル時ハヲ痛ニ分キヲフコトク
ノ針ニテサシトヲシ細ニ血ヲ取也当リイタメニハ而ノ
推ヲ本ニサシ腎ヲ立也舌破心熱有ト心エテ心ノ
有ヲヒテスベシ其ヤフレ舌ヲフロ〳〵トサシテ瀉スベシ
喉ノ内ニ物有ニハヤリサシテ血ヲトルベシ

七十二中セツケンセツ内ニ叶スハシトカイノ下ニスチ有ヨリシテ
ケイトイフヲトカイヨリ骨ノハツレノホニヲフシテ一ツ
サシテ共ヨリ一寸五分脇骨メキハヲサス也

七十三悪瘡ノ針ノ要手ニイシキノヒキヲイクホキ所ノ

ライタキ極ニ又ハ程ニ立ル也

●足下血ノ針ノ灸ハ一寸五分ヲ立テ下ヨリ上ヘ入ル極ニイカニモ忘ル補ノ針ヲ立其痛ムヲ瞬ノ痛ムヲヨリノ痛ノ補ノ針ニ立后ハ土ヲ推ヲ補ニ立百壮ニモ立ル也

●表霍包ノ針ノ灸先百壮ヲ立気ヲ付瞬ノ上下左右ヲ一寸ホカライカニモ補ニ立也上ノワンスンヨリ其下キハトキハリニ瀉スルヲ吉ツヨクトキハリセハ虫ノ左右ヲ心ル補ノ吉瀉スル灸ヲ先心ルヲツヨクツテ分別スル胸中發熱セハ即瀉スル也鳩尾ノ下一寸五分ニ寸ノ間ヲ立ベシ胸中發熱セハ即瀉スル極ニ立ル儀ニヲコル時ハ天カンノ如ノ大ル物也ヨク心ル心ニ分別ノシヤウヲ見ルベシ

一 咳嗽ノ針ノ灸天トツ肢ノ両ノ脇ヲサシカケキス千有（ニ其ヲ心静ニ立補スベシ後ハ三ノ上前ハ尾ヨリ一寸二寸ノ間ヲ其ヲ両ノ脇肺ノ府ヲ立也モレツクヒ百会ヲ可立也

一 胸虫ノ針ノ灸鳩尾ノ下ニ針ヲ少深クシ立スシテ其ノ痛所ノ上カトラクツロニテ数ヲ立也鳩尾ノ下二寸三寸ニ針ヲ立スシテ其外別ノ針ニテ立也

一 水腫ノ針ノ灸先百会ヲ立ロヲツムル共ノ其餘ノ腫タル上ヲ灸敬ノ針也目ノ上ハレタルヲ以テ水腫ト立也

一 小タンインノ針ノ灸前ノ上ノ台中ニ三ツ地ノ乃又天トツ一ツ三ノ二三ツ何モ補也

一 尸カリノ針ノ灸足大指ノ内ヨリ胸肺ニ立也後ハ七ノ推三ノ推立也

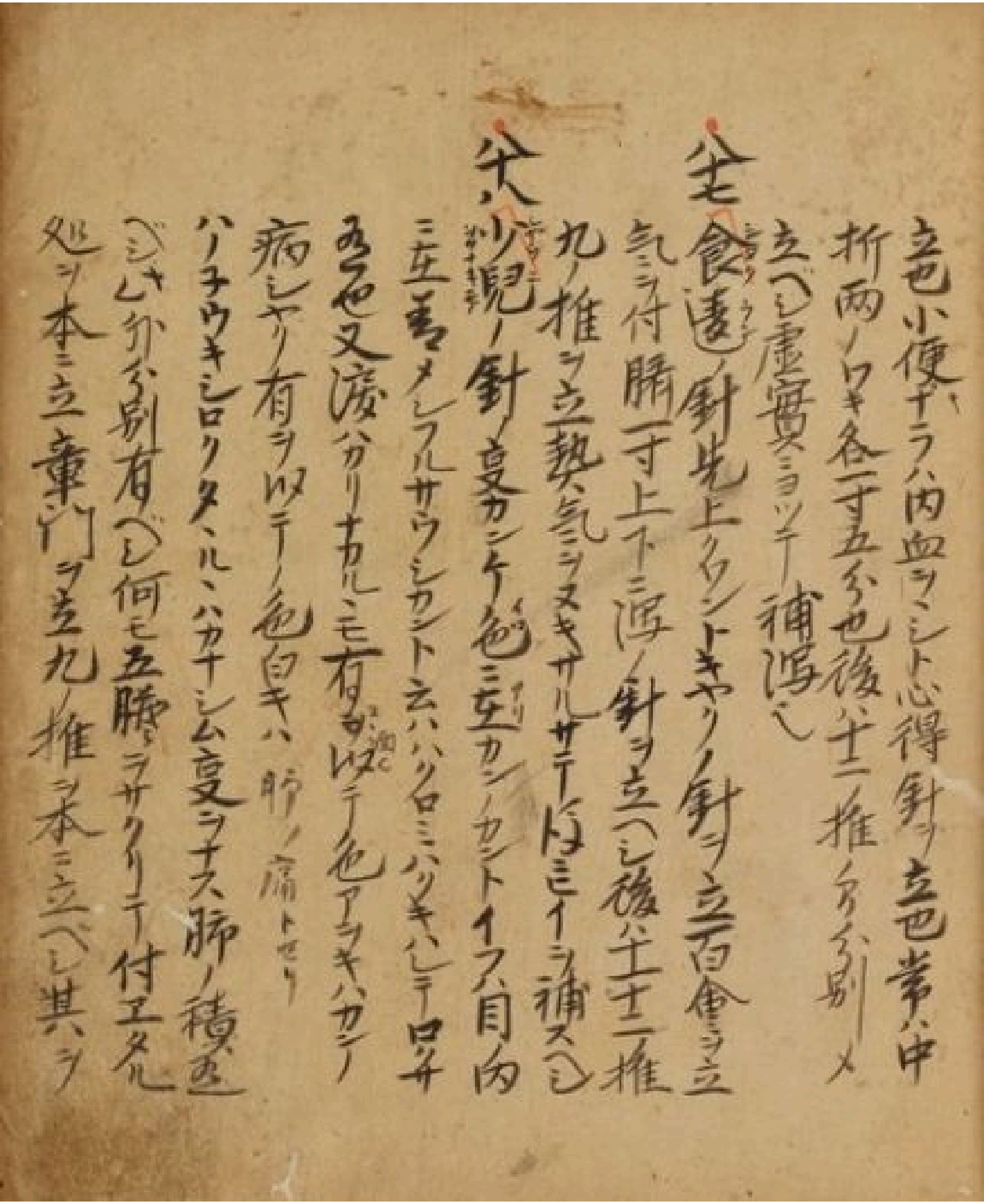
十二虫クイ歯ノ針ノ妥先ヌ痛処歯ノ上ヲホウヨリサシトラシ歯ノナミサシツメテ補ニ立也脵ハ上ヲシノゲヲ立ル也

十三不食ノ針ノ妥尾ヨリ一寸脇ノ上一寸也中ノ両ヲ立脇ヲスヘシモ若

十四血ノ針ノ妥心熱ハナハダシキ故血餘テ咄也急府ヲスヘシフシ尾ヨリ下一寸五分ジイカニモウツリシリ針ヲ補ニ立後五ノ推ヲ瀉ニ立三ノ二ヲ補ニ立

十五咄吐ノ針妥ヒイライカニモ補也肺ノ二ヲ補ヘ尾ノ下二寸ヲ心静ニ立其ツカヘタル処ヲイカ別メ補瀉スヘシ

十六黄疸ノ針ヒイノ病ヲル万目ノ内ヌ色黄ナス先脾ノ腧ヲ心静ニ立脇ノ上下四方一寸イテ



立色小便ナラハ内血ヲミシト心得針ヲ立色常ハ中
折両ノ口ヨリ各一寸五分也後ハ十二推ヲヲ別メ
立ベシ虚実ヨッテ補瀉ベ

尿閉(ニョウヘイ)

食道(ショクドウ)ノ針先上ヲシントキヤリノ針ヲ立二百倉ヲ立
気ヲ付膊一寸上下ニ浮ノ針ヲ立ベシ後ハ十二推
九ノ推ヲ立熱気ヲヌキサルサテトヲミイシ補スベシ

小児(ショウニ)ノ針

大ニ異カシケノ色(イロ)ヲ立カシノカシトイフハ自内
ミ立毛メレフルサウシカシト云ハ白ミハヲキハシテ白ヤ
ヲ色又淡カリ赤ルミモ有ルハテノ色アラキハカシノ
病シヤリ有ヲハテノ色白キハ肺ノ病トセリ
ハヤウキシロクヌメルハカヤシム夏ヲナス肺ノ積ヨ
ベシ外ヲ別有ベシ何モ立勝ヲサクリテ付ヲ九
処ヲ本ニ立兼門ヲ立九ノ推ヲ本ニ立ベシ其ヲ

以テ之ヲ灸スル也ト雖ドモ必ズ骨ノ口キ
両方ヲノ〳〵一寸ツヽヲキテ立ベシヨシ之ヲ灸スル也オノ
秘灸也

一九　ヨビキノ灸股中ニ悪血ノカタマリテヨルインノ府
ニヲル故也　イタノ股ノ静ニヲクリテ補ノ針ヲ立ル也
童門九ノ本ニ立也病右ニアラハ左ニ立ル也

一九　小児乳ヲアニス灸尾ヨリ下一寸ヲ少ヲカリ
ヤハラカニ立上クワンノ口キ中打ヲ立也

一九　小児股ニ千テイタミアラハ先其ノ面ヲ見テ
ヲ別スル也

一九　小児乳ヲアラハ千リケヲサシテヲサリ灸散ス九
ノ推サンシヤウモンヲ立中折ヲナスベシ

一九　ケツクワイノ針ノ灸血ハ九ノ司故ニ必ズ其ハクワイ

スル物モアリ其ハラ鍼ニ補針ニ其リクイスル物ニアラテナリ立スレテ其物ヲ手ニハセハ処ヲ少シ上下ノサウヲアルクベシ血立ヲせバリツクシヒニ立アテ必テフミカンスベシノコヲ本ニ補メ上熨ラ灸散スル気ヨリ面ノ色モリハ童ニ百舎ニシレン日ニ立必気ヲサヒル也小便シライレシテクハ大シハノウ中スキラヤクリ堅キ処ヲスキニ補ノ針ニ立血下トニラスハ一寸五分下ニ立心シツカニ吉ホツカリ穴ニツヲ一寸ヨリ浮ク上モ吉補也ヨツユノトリホニツ又ハ痛処ヲ立也

当日水上ニリフツウヲル夏睛ノニウリ心ケッククイ左シレシ本ニ立ニートスハ沿ノ針立ホンノ下ヨリホト中スキニ立両ノ脇右一寸五分ツツ立補スベシヨリ其ハ今シヒニ(タラハ針ニ三分入テ吉補ハ(シキウ

ミアメ穴考ル又腫ノ上ヲリ灸セハ浅ク灸スル針ヲ立ルモノ針ヲ三ツヨコニナラヘテ深ク肾肝ヲ補スヘシ表熱セハ浅ク灸スヘシ長ハ三リ五リ三イシカウヲアメムヘシ

至水連ニケラノ小腸ノ下三寸ニキテイカニモヤハラカニ補ノ針ヲ立其氷痛処ヲ本トサシ五リノ三リ三イシカウ同立ヘシホツカイノ穴四ツユイノ下ヲ面推ヲ補スレハ血ト共ニ白キ物下ルヘシ補ヌキセイケツノ下ヲハ風ニヤラレタルト心エテ灸スベシ按ル時ハ赤黒キ色黒キ色其ヲホソスレメテヲ別ノ補スヘシ冩ノツハ灸スル也気ヲ送リ定ヘシ

至六気ノツボニテ積有トケツクライト定ル見ル方ヲワキノツカヘハ上三五寸心肺ノ府ヲ先ミツル也三本

煩也血ノクワイスル物ニタリシ本ニ煩ハンケイヨリヨル本ニ煩也気ノ大カタ右ノ本ニ於ル瀉ノ針ノ浅立血ヲ先ノ本ニ深リ立補スル也

一 ○ 針ノ変カラヘニ処股ノ中スヂニ深瀉ニ立後ノカヘリ同カリカナノ骨ノハシヒザノキニ五寸脇ノウラノ処ヘ傷立

一 ○ 諸ノ病アレキヲ見ル極ノ変

一 ○ 化病者ヒノコウハシヒザノウラモハシヲ方ヲモノ大便シタニラタノ人ミテンセスヲハカリサリハミテリ〻可死ハ

一 ○ ミルフラフチ入有鼻口耳クロノ面白ノニクノ一面物モイワスロノニクレハツルハ咳アヤウキシ、

一 ○ 久キ病面ノニデタ赤ハアレ、

一 ○ ロラアケハッテ息ヲツリハアレ、

見膝ハレテフルフハアシ、
シンタイ瞳テ小使入ツルハアシ、
面赤テ眼白キハアシ、
面先ヨリメ後ニ高ハアシ、
ハリキリ名キハアシ、
チノ下
唇ヨリ歯寒シニ立ヘハアシ、
イハリシテコロモノツヽメシサクリ而テサクルアシ、
カミスクミアサノコトキハアシ、
ヲヤシスチノヒ
手内ニシハリ
手足ノツメアヲクロキ
セエチニウヽキ腹オタヽミ

一 面ノ白キ分ヲ、
一 ノ千ヒルコヲ」腫テ毛ハノ白キハアヲ、
一 ショクラミテウヒロムノハアヲ、

五十乳風神門左右一寸五分ツヽ又章門左
後ノ一骨左右中 中クウ左右

痘人ニ傷寒大事

一陰ニ大要　一陽ニ大要　一神手ニ大要

一折揆ニ大要　一針先ニ大要　一按大要

一補ニ大要　一瀉ニ大要　一心持ニ大要

一死ニ大要　一治ニ大要　一種聚ニ上ニ大要

一六ケ所ニ大要　一四分四忌ニ大要　一道筋ニ大要

一産后ニ大要　一俄出ニ大要　一肛中ニ大要

一妊中ニ大要　一針出ニ起為ニ之直大要

一懐ケ針ニ大要　一針ニ之折按大要　一推針ニ大要

一乱ニ大要　一蛭口ニ大要　一蜂指ニ大要

一真ニ大要　一阿ニ大要　一叶ニ大要

一如来針ニ大要　一三心ニ大要

黍

無　有

十

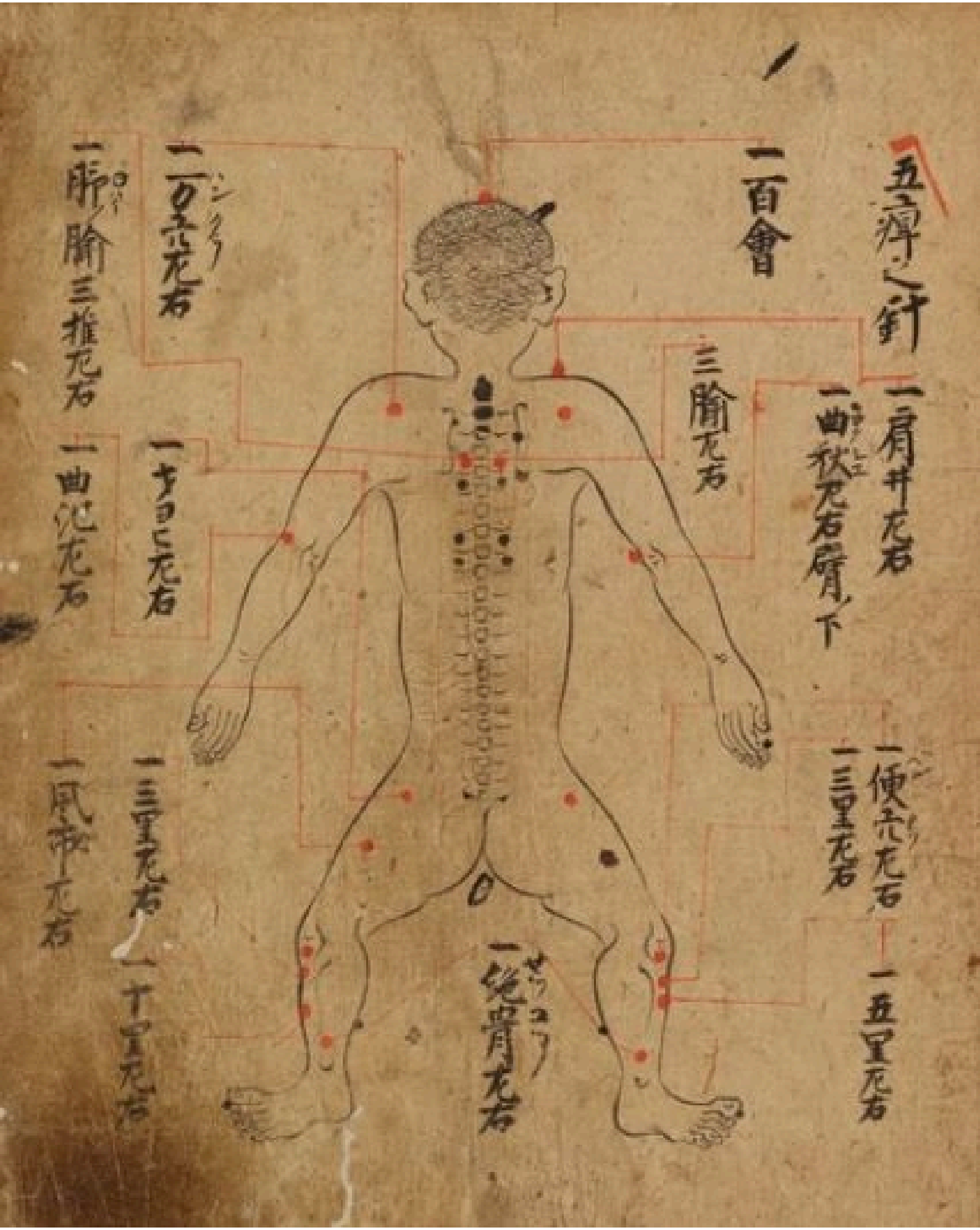
無　有

地

地

火

五痺ニ針
一百會
五痺ニ吉
一正皇
五痺ニ吉
中脘右
五痺ニ吉
神門左右
丹田臍ノ下一寸三分
三陰交左右


五寸ノ針
一百會
一肩井左右
一曲池左右肩下
三腧左右
一天宗左右
一肺腧三推左右
一曲沢左右
一手三里左右
一風市左右
一便元左右
一三里左右
一五里左右
一絶骨左右
一十里左右

一中風之事
一百會穴針三分
一肩髃左右
一上星
一中管左右
一中春指向爪中左右
一三焦カラ
一丹田臍ノ下一寸三分

中風之章
一肝俞三推左右
一肝俞九推三壯一壯左右
一百會ノ穴針三分
一針ヲセテ右針三ツ
針五分
一肩髃左右
三陰左右
一曲池左右
一神門左右手同法
一五里曲池自上三寸左右
一三里曲池自三寸左右
針三分
一風市左右
一絶骨左右
一便穴左右三分
一三里左右
一五里左右
一十里左右

肺氣
一百舍
一肩井左右
一曲沢左右
一中管右肺俞
三焦ノ左
一郄門下二寸三分

脚氣
一肩井左右
一五里曲池自三寸
一手三里左右
一百會
一二穴左右
一曲泉左右
一肺腧并三椎
一曲池左右
一三里曲
一爪甲左右
一外關左右
一五里左右
一三里左右
一便穴左右
一手三里左右

月病依寒熱一火柳左右各一分
一花門左右肩各五分
一百會
一氷柳各三分
一攅門左右各三分
二万穴左右三分中各三分一曲池左右各一分

目病
百會
一寸九分
一寸
曲池左右
三里
絶骨

五積
一兩管左右針一寸
一中脘左針
一肝俞右
一大柳左右針三分
耳ノ上入分
一臣關針入分
一心俞右
一鳩尾自一寸下
一中脘右針一寸
一田腹穴肝俞右
一明主三穴各自下入寸
針入分
一下中脘左右
一胃俞右
一サイキウ左右

五積
肝ノ腧才九推九右
百會
膽腧二穴各十ノ九右
胃腧才十二ノ推二穴
腎腧才十四推九右
肝腧十一推九右

六聚
聚ハアルノ
有ル処ノ六ヶ所也
一天トツ
一上ノ虫ニ吉
一神門左右針三分
骨一ツメ左右ニヨリ三分
一胸ノ虫ニ吉
一アカリ虫ニ吉
一肩井左右針之分
一上虫ニ吉
一脇虫ニ吉
一せき虫ニ吉
一中ノ左右
一肺ノ虫ニ吉
一ヘソノ上ニ寸左右
一臍ノ虫ニヨシ
一ヘソノ下ニ寸
一ヘソノ左右ニ寸
一脇ノ虫ニ吉
一心ノ虫ニ吉
一中ノ左右
一肝ノ虫ニ吉
一メイモンノ左右イ
三寸

六髎肝俞各九椎左右
百會
膽俞二穴各十七左右
胃俞各十二椎二穴
腎俞十一椎左右
腎俞各十四椎左右

血道ノ針
一耳根下大穴
一耳前三寸ホドアカリ
一三里左右
一上星ノ血ヲ去
一血ヲ去
一天柱左右
一火柱穴目ノアタリ
一臣穴鳩尾ヨリ一寸下
一三焦ノ左右

頭痛之針

一百會

一大都耳上六分左右

一曲池肘外

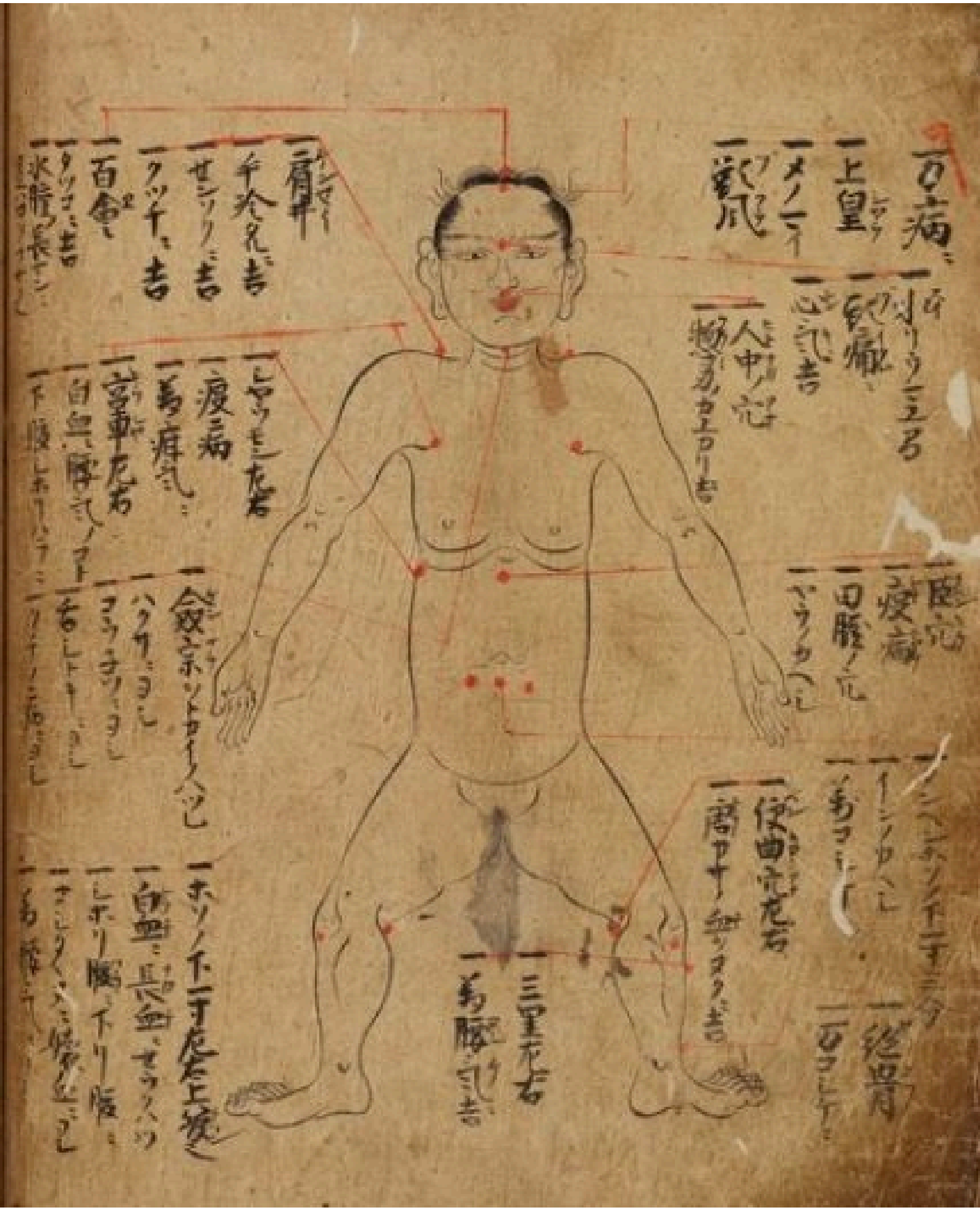
一火都二ノ穴左右

一正皇穴

一臣穴踝尾自下寸小腹

一三里穴左右

一風痛是小腹下


百病
上星
メノマヘ
鼠蹊
肩井
千金
センリョウ
クツソ
百会
水溝
上脘
疫病
両脇ノ下
ヘソノ下
陰交
三里左右
気海
腰痛
腎兪左右
帯下
血海
長強

一 支人ニ天人地ノ三気アリ乳ヨリ上ヲ天トス用ヨリ
ホソニテオノ人トスホソヨリ足ニテヲ地トス天ノ
針シハテカルニ三ヶ所ヲ数ルニアリ中ハ針モ中補
ナリ地ノ針ハ陰ナル間手シモクメ冷ノ三ヶ所ヲモ不苦
一 ヒルヨリ前ハ針先ヲ上ニムカヘヒルヨリ以ハ針シタニ
サクルナリ是陰陽ノ法ナリ
一 春夏ハ陽ナル間針モアサク秋冬ハイレテヒル寸
シフカリニナリ又ヒ倍ス
一 病痛ハヒヨウニヨリニヨリニヨリニヨリニヨリニヨリ
サクニテヲ契シテオヘカロクハレテ癒ハヒヨウニ

ヲ一リニヲ二ハ針モフルノヒヨウハ多数リ一ハ馬ナリ

一肩髃ノ針治ハ元ニカヽラスケイノ心ニヒタカッテ左ノ病ノ治シホトコスナリ

一肺三ノ椎ノ間肺ノ腧ト云ハ灸白ニ風リンナリ五分ノ中ニハ金ナリ五ニハ灸ノハシナッテレンキウナリ

一五ノ椎心ノ腧ト云ハ灸アカニ火リンニヤウトウ也

一才九ノ椎肝ノ腧ト云ハ血アホニ水カウホウトス

一才十二ノ椎脾ノ腧ヒ灸蓋中ハウナリ体ヲ

一才十四ノ椎父冥ニ水リンアチニト云

一ソシノ府ト云ハ肝ノ腧ノ府也父同長一尺二寸ニハヒソカナリ

一 こせうノ府ト云ハ上せう肺ノ膀ニユリノテ下ル血ト
ヘンシテ五タイトナル血液ヲリ中せう心ノ膀ニ入ル
乳ヨリ血ハヘンシテ五タイトナルシムラヘンシテア
フラトナルアフラヘンシテアカトナル

一 大腸ノ府ト云ハ肺ノ府長ニシヤウニシヤクニすと
せう中せうトせう

一 小腸ノ府ト云ハ心ノ膀ノ府ニシヤクニすと膀ト名ノ

一 胃ノ府ト云ハ脾ノ膀ノ府ニシヤクニすと膀ト名クトケテル
令根

一 胃ノ府ト云ハニツノ口ヨリ入ル一ノ門ハ下せう

下ハスデハチ小下ノ一ノ小合ノ一ノスミクル小

下ル命ノヨリ命根入血トナル毛ミヨリテ血トナル脈也

一イシノ一ニツノ口ヨミニツミハフシノ一ヨリミエクサウ下リ

ニトヨムハウウノ一ヨリハウクハウヲ下リニ小スデハデ

下セウノコレヤリテヨクテイトナツクルノ府ナリ

一ハウクハウト云ハ是ハラフクロトナツケテ三セウノ腸

心ノサウノ府ナリ

一三ヨキ小腸ヲノ腸ニツヨ尼ハ肾右命ノ一ヲヨル

ヨリ出テ三ノ推ミアラハレテ出テ十五ノ推ナリ

一大腸ノテンサウノ府ノ交白ヒウクル小右ノ一ル小ヨ

下ハスデハ手ノ下ノ方ニアリ小指ノ下ル筋ヨリ筋根ニ入血トナル所ミヲリテ血トナル所

一インニンニツノ口ヨリニツニハフシノヨリシユクサウトリニトヽ云ハワウノヨリハウクハウヲトリニ小スデハデ下セウノコシトリテヨクテイトナツクルノ府ナリ

一ハウクハウト云ハ是ハラフクロトナツケテ三セウノ腸ノサウノ府ナリ

一三ヨキ小腸ノ腸ニツヨリ尻ニ尻筋ヨリ筋ヨリ手十三ノ推ニアラハレテ手十五ノ推ナリ

一大腸ノテンサウノ府ノ父白ヨリ小石ノ上ニ小指ヨ

ホソミアタルニ充ツオナジキヨウノ長サ三寸ハ
チヤウド寸小腸ニサイド府ノ父アタルヲウクルハ右ノ一
寸三分ヨリホソミアタル充ツ同ジキヨウ老ケレン
キヤウハ心ニ老ヲウ府ノ青入精汁短業間ヨリア
タテ一ニトカニ胃ノサウコクノ府ノ募也三寸六分
ウクルハ老ニ尺二寸キヤウノ父寸三分ヲ中ニ多ハウク
ハウレンエキノ府ノ黒ニヒロサハ九寸一寸八リヲ
一ツノ人メ面ニヨタウ針灸ヲサツカイノタメ同ク
レホンニ来レノサイゴウハ永ク陸ナルヲロノ〳〵ノルニ
ミノイハンヤ一毛大ニヲヤ中トウ充若ノトハ下腸ノ

針ヲ一寸三寸ノ内ニ立ヘカラス

一上星ノ針ノ事　一頭風天ニ病候シテ物忘ル、病

一万応左ニ立ケ申　一通里ノ病気ニ付テ針ニ付ス

一目星ノ応左右共ニ一寸ノタメニ目ニ吉針ニ付ス

一承山左右一寸ニ立ツ、胸ニミイノ薬ノミテンカンヤセ病ニ

一地機左右一寸ニ立ツ、キモヘトニヤクリ　股ナリ　腹

ニヤクリン針ニ付ス

一経門左右一寸ニ立ツ、ミナリ目ノ病セヌカ血用ニ

八痛ヲシヲ

一左右同ク目ヲヒレタンキン腫針ニ付

一曲沢左右ニテノウラ喘但クチカハキ ヲヒケセンシクリ

一三言ノ中ノ上 胸ムネ イチニテカナラズ針ニテ

一乳門左右三寸乳ヨリ下ヘ三寸六ブ血脈シンミャクヲ入脇脇

病吐血 消渇ニ針スベカラズ

一乳根左右乳ヨリ下ヘ二寸三ブ灸療針ニテ

一巨闕鳩尾ノ上一寸下不食嘔吐及吐 肝病 目膵

虫吐ス白沫ヲ者枯呵気 血上 瘧乱 労心 股痛針一ブ

一上脘巨闕左右三寸脇痛フクシ筋痛気上ヨリ

後架 痰病 ニヤクリ ミヨウウ針一ブ

一中脘左右巨闕ヨリ二ノ下留灸二不 不食シヨクナシ

血上吐血耳鼻ヨリ白リ入ル一百病去
大虫ニヨキ。ヒヤウカンニヒヤリシテ上ニ服ル。カシテ。
一テンリ中管肩下二寸服病服長寸白 白虫病血上
一下焦ケンリ向下寸 不食ニ服ニ病ノハリテン
一回腸ノ穴ホソノ上二寸三ふ小フシノ穴ト云不食服ヲ
シウホソノ腸ノハリテニ小病腸タスアルケウ ケタスクニ
ヨカザルシ下服コレテ
一下ノ上焦タンテンホソノ下二寸三ふ腸モフル血コモリ
胸ニハリ灸ニ大便小便ヒスホウシ カ腹ル、
一肺元ホソノ下三寸 消腸フル血コモリ大便小便ニツシ

気下 腹気

一中魅ホリノ不守 腹痛 痛消渇 林病 荒病

後ノ針ノ事

一合谷耳門ト二寸ヲ去テ井ヲ 風 軟痛 目ノ病

タテクラニ 血ヲ ツケテ ヨタリ

一大椎一ノ寺 風中風 血ヲ 舌 シタリ上ヲ

喘促 腹病 ホリノ ヨタニ 心気

一肩井 中風脚気 血ヲ乱生物ノ事ヲ

一カウクハウ承ヨリ推去 テニ病 ヨ病 カルレニ

一脳戸三ノ推去ヨリ去ヨ法風 ヨ養ヨ風カルレ

氣ニメカイニテ胸中ニ喘促ス

一心兪ニ灸ス椎下ニ風血ヲ按ズルト長病ス

一三里ニ灸スレハ膝下ヘ氣ガ下ルニテ風ニテモ痛ス

痼吐ス不食針ス

一ヌラウニ灸ス椎中上下ヲ動クルニクッカシ氣ノツリモノ大小ヲ問フルウニ針ス

一天突ニ灸スレハ椎中小キ心ニ不食カ弱ク又ハ心ヲ痛胸小サウ血ヲ吐ク

一肺ノ兪ニ灸ス九椎ヲ經テ筋痛肩痛ヲ治ス

血上ル胸ヲ按ス胸服ス

一腎ノ腧ニ十推キ同ノ病実痘、

一脾ノ腧ニ十一ノ推　病病不食ヨリ久実ズル、

一胃ノ腧ニ十二ノ推　腹病不食血ノ病

一三焦ノ腧ニ十三ノ推　腹痛不食血ノ病

一中脘ニ十ノ推キ　コレ血カメヨリ上ヨリ出ヅルヲ治ス、

一風ニ針ニ十二ノ推キ　コレヲモミスルナリ

一胃ノ腧ニ十四推左右　消渇長血腹痛転ルガ如シ

一大腸ノ腧ニ十七ノ推左右一寸　腹病不食消渇

一小腸ノ腧ニ十八ノ推左右一寸半　病ヲ治ス口ヨリ腹ニ

一痔先左右ウテカセラ同三寸上カヽセカヘシテカヘリ

一弓穴カメノシ向上ニ手 消渇 喘病 心ヨリサワ脳痛

一膀胱ノ穴手十九ノ椎ヨリ各旁ニ一寸ヲ下ス

消渇小ヒノムシ中爪コレヲ主ス 喘病ヲコリ

一挟ムキノ針ノ事

一京穴ハ各耳根ヨリ下ヨリ上ヘ二寸 脳乳ヲ伝ノト舌脳針ヘシ

一肩地肩ヨリ井ヨリ上ハ各 中風脚気 手モ出ス金ハ

一キウシヤ肘ノ上ハシヒヨリ向一寸上ミ十爪ニ股痛 疾腰 財腰 白血 常ニ下リ 腹病 小病

一消渠肩ノ下肘外三寸 脚気 中風 手ノ入リミ

一曲秋膊ノ内左　身掌ヲ若ノ力弱ク叉ハ手
一便忘鼻ニ通左ヘ曲ル疼腰膝脚気脚不立
一便曲左ヘ腹不立アレハウコカス中風脚気膝脚ニ手膝
一足腰左足ノウラノ中嘔気嘔吐厥症狂乱
一私ニ右後左ヘ龍地ノ地ニ叫ノ癇狂ニ天仰ニ前ヘ
足ヲ土ヘルシノ物ヲ忘スクム事ヲ叫ぬ
中ヲ痙
一百舎　耳鳴英痘ニ風目廻疼血上ル死
一大柳耳ノ上ヲ耳風ニ疼白雲生物耳ノ病
一火柳月ノシリ角一寸大石口ノ病嘔ヲ生物ヲ白左
一小柳月ノ間痒赤目ダシヤメ目ヲ頭痛目ノ下

一人中 鼻ノ下ヨリ身痺

一耳根ノ穴 耳根自ヌケ耳鳴聾

一斯門 乳ノ通骨ヨリ少シ気上腹痛寸白生物吉血

門痿身痙 冷痛 水腫五腫用

一曲池 身ヲ目ノ病中風 胸気五痺

一五里 曲池ノ寸上 中風 脱痙五痺

一三里 曲池ノ寸下 中風 灸ヲ身痿手指腫痙

一沢上 ヤトカイノ下 口苦 黄疸腫物 ハシケコウ

一大陵 脱ノヒノ中指痙 中風 胸気目病五痺

一下水小指ノ方ヨリ 難聖忘痿シラーヌメヨ上ヲ

一明主骨自下五寸灸瘧 目痒ヲ去ル 肩痒腋ヲ去ル

一風市ヨリ自上八寸灸脚気 中風腰不立ヲ治ス煩

一三里ヲ灸使ル自下三寸脚気中風五痒悪ヲ去ル痛

一五里三里自三寸ヲ灸脚気中風消渇肥ヲ悪痛

一巨虚上廉自守上中脚気腹気上逆

一巨虚下廉自守上下脚気腹気上逆

一条口ヨリ下ル百舎自一寸ヨリ目睫ヲ痛

一承山ヨリ下ル百舎自一寸ヨリ目睫ヲ痛

一天柱ヨリ六寸ヲ去ルヲリウカミノ間 目睛ヲ頑症

一大杼ヨリ一推ヲ去ル 目睛ヲ頑症

一大杼ヨリ二穴ヲ去ル一推下ヲ去ル二寸ヲ灸スレバヲリウカミノ痛

一風門ヨリ二寸ヲ去ル一推下ヲ去ル二寸ヲ灸スレバヲリウカミノ痛

一脾ノ腧二穴ヲ十一ノ椎下ニ各一ヲ寸ス腹滿胸背痛ヲ
ヤセ茨疸瘧ヘキ後ヒニ不食痢病下腹ヨリ胸ニイタル心氣
胸サヘキニヒクリ腹病

一胃ノ腧二穴ヲ十二ノ椎下ニ各一ヲ寸ス腹病不食ヤセ病
胸腹脹ミチサヘヘ

一三焦ノ腧二穴ヲ十三ノ椎下ニ各一ヲ寸ス キヨラウヲ耳ナリ
胸腹長痛ス痛 腹鳴ヒエ冷背脇強ス

一腎ノ腧二穴ヲ十四ノ椎下ニ各一ヲ寸ス 屈ヲ耳ニ鳴腹
長ニシテ腹ニヤヒエ冷ス

一今ノ十四椎中ニ痛ヲ好ム灸ノ下ヨリ行ヘ腹腹痛鳴ル

一動メ氣ノ病汗スヘアラス乾支ノ下セ

一胃脘ハ九サキト中ハウ（ヘソ）ヘ（ヘソ）ヨリ九ホソノ下三寸

一臣宛心サキ胸ノ下一寸

一三焦ウノ病腹膨氣ミツルハ三焦ウノ病也小腹カメキハ

三焦ウノ病ヘ小便セサルモ三焦ウノ病ヘレイソウキ

ヤウミイハソ上セウイテ、胃上口中セウ胃ノ口ナラン

テ上ノクハミモノリ下セウノ腹ハタソハウソハウソクライ

オメクルヘロウテイミ云、拳リノ三焦ウノコトハロツユノ

臍自ケウカリ中セウミイタルハ如包鳩尾自ケウカリ下

（セウニイタルハ小便ホソノ自下モソリカリミイタル

一耳ヲ病ハ　所ヲ也　カリニミツルハ　心ノ氣ヲ補
一ホウ膓ハ　肝經ニ　胸ニミツルハ　心ノ經ヲ補
一ク乙産ハ　肝經ニ　ヒテノ病ハ　心ノ經ヲ補
一胸ノ病ハ　肝ヲ瀉ニ　脾ノ病ハ　心ノ氣ヲ補
一胃ミツルハ　肝ノ經ニ　肺ノミツルハ　心ノ經ヲ補
一脇ノ下ハ　肝ヲ瀉ニ　胸ノ痛ニハ　心ノ氣ヲ補
一氣逆ハ　肝ノ經ニ　股上ニシ　心ノ氣ヲ補
一チカリ多ハ　肝經也　心ノ經スルハ
一陰ノ病ハ　肝ヲ也　ヨリミツルハ　心ノ經ニ
一肺ノ病ニハ　肝ノ氣ニ　心ヨトロリハ　小腸ヲ瀉ニ

一口ニカキハ　タニノモノニ　血脈属セルハ　ルヲモ

一先ヲ下ニ　肝ノ様ニ　一口ニ張ハ　肺ノ様ナリ

一心煩ハ　肝様ニ　脈利セサルハ　肺ノ様ニ

一口ニルノカナハ　肺ノ様ニ　肩痛ハ　肝様ナリ

一長病ハ　肺様ニ　毛カルハ　肺ノモナリ

一口ノカノハ　肺様ニ　タイモハ　肺ノモニ

一食不ナルハ　肺モニ　カノミルハ　肺様ニ

一身腫スルハ　肺様ニ　ヨウエスルハ　肺様ニ

一面黄ナルハ　肺モニ　咽利セルハ　肺様ナリ

一中ミツルハ　肺モニ　肩痛ム　肺様ニ

肺積

ソレヤリハ五臓ノウチカイタン
間上ニヨコタハル積ヲ生ズル処ハ
肺ノ穴ヨリ間ヘテリノニオイヲ
ミノミナラズサキカラカラノロニカラキ
アイテコトヲ弄ニカナシムコトヲ大
ゲサ肺ノ義ヲカヲ其色白カ
ルベシ是有人ハ肺煩ヒヲ積
右ノ脇ヨリ亦也ムサキニヲウ是
オナツイテ積ト大是ハ何ヲ病
ヤハラカニヘサクスリ也

心積

心積ハ多クハワリ口ウトスク
上ニ左ヲ大キニ生スルヲリ上ヘ人
十ニタリ南ノ方ノ少シ向ヲ支
エンヨツテ血ヲ生ルヲリ鼻ニテ
ノチキ香オカリロニハワラウ夏
ヲエタリニカキモノヲコーム心ヨワリ
シテ西ノ久アカシ是ヲ心ノ病セリ
針ノ立様ヒ伝ヒカリノヨトクヘヤリ
カメチニヤレハナヲヲリカリ

脾積

脾ノ腫ノ積ハ名テ痞気ト云
睛ノウリニテ生ズル間青
ミテ煩也口ヨリミアイヤシヨウ
ウメウメフコトシナス面ノ色
黄ニメアラハレ積也針睛ノ
ミウリシテヤケテ立ル所
ヨリ也ト彩ミナシハ長血血
コレタメズ女ミモツトモアリ
立ヤウロ伝ル

肝積

肝積ナルモノハ肝気ヨリ
カタマリ乳ノホトリヨリ
ムネウガトサノホドニ
ナス面ノ色アヲカルベシ生ス
方ハ未ダ浅キ処ヨリ見ハ
フトラコトムスイ物ノコトムヤリ
油ノ如キラニリムヨリ有ル肝ノ
病トセリ九ノ積ヨリ本ヨリ后ノ
推ヨリ又也虚実ヨッテ補

腎積

腎積ハ名ノ如ク腎ノ病ト云ヘドモ沈メリ其形イカヨウナルカヲ云ヒ腑ハ下ニ在テ上下時ナシ生ズル方ハ水ヲ以テ前ヲ以テ更ニ司ル依テ処ヲ分ケズ又ルリコトヲ云ヒ積有ル黒メシハ苦味ヲ以テ之ヲ治ス口内ヲ以テ之ヲ治ス腎病トセリ針ヲ以テ之ヲ治ス

六聚ノフルイ

一テンカン三五ツアリ

心ノ臓ヨリ出テ名テ馬ガト
イフ是ハ日ラヘテヲコル患也
常ニ心ノ臓ヲ主ルナリ
是ニ色ノ主ヤウヨリ傳多有
ミエウシロ針タツルトコロ同ク
也カモ深ク心ハナシ

肺ノ臓ノキウカン

肺ノ臓ノ聚ル処ヲ名テ
キウカントイフ是ヨリ物ニムカ
イテヨコルナリ一カ所ウニヲヨコ
ヘハ肺カントヲモイテ肺ノ
臓ヲ立ヘヒ宅形ニナリテ
ナヲリカタヒ針ノ立ヤウ
色ノアリ

脾褒

脾ノ睡ノ如キモノカメイジノ
ノ岩ノコトシ是ハケンブツ
ノニハニテヲコルナリ是ヲ
コル時ハシバシヤリノ岩ノ上ヘ
ヲツルコトシ見物ノ庭ニテ
ヲコルハヒノ底ヲ立ルナリ
也スガタニテリナヲリカメノ
針ノ立ヤウ口傳アリ

肝之臓ノ聚

虫虫ノカタチヒヤノマトシイカ
ルヤウカイノ中ニ
テラコルハ是肝ノカト云也
虫取ニ米ハ上ヘノホリテ
キモニクイツク時ハミツスク
ミ長クナリビリくトフルウ
コトセヒナリシ其ニ米ヤ
シリカラ針ノ玉ヤウ口伝ノ
イツレモ五痛ニ一針ヲ

膽虫

蛔虫胸エセメアルト時ニ
口ヲ疼痛コトイフニヨハス又
ナツミヨツテ痛浮スルヤウニ立
ヤウ所ホニ立スヤリヨリ
口得ヲエテ立ル者

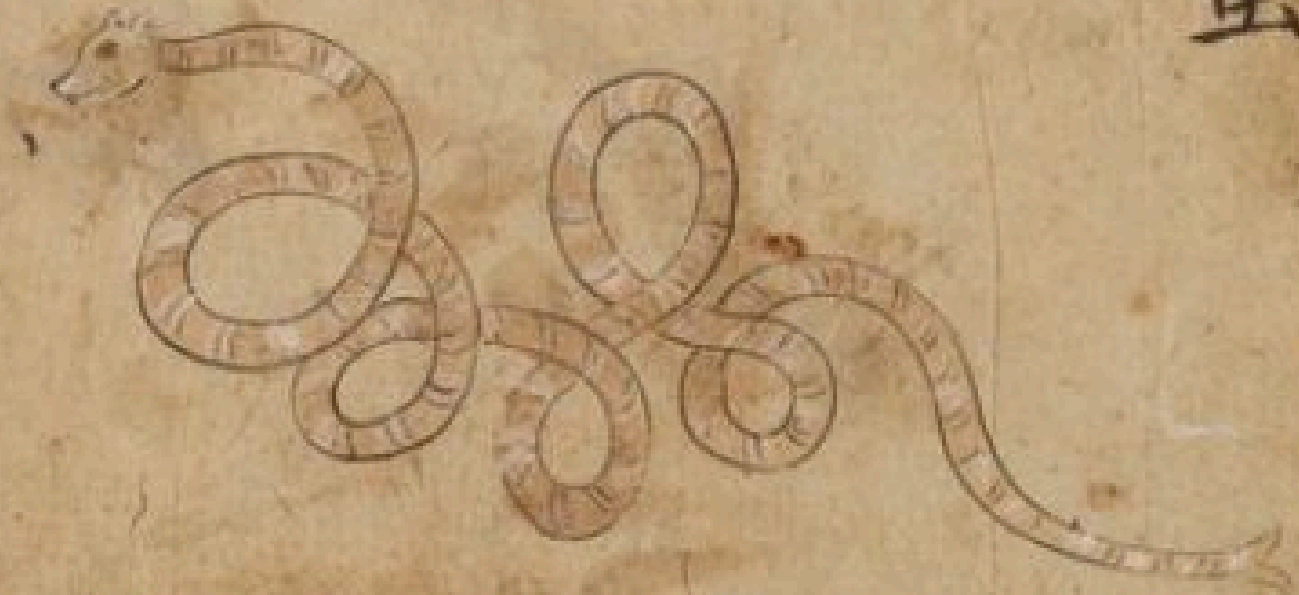
小兒ノ虫ノ色ヽ

ヲノ虫ヲコル時ハ目ヘ上カル時モ
又ハ股ノ穴ヽ時モアリ又ハ股ヲ
下ス時モ又ハ又死ス人ヽ
スル時モ左元ヽト好ム
又ヨルヤクヌモノヲ好ム
ハ舌又ハ口ヲ煩時モアリ
又乳ヲ上スコトモアリ色ヽ
ツテイアリトモ針ヲ立ヽ
陽ヲ上ル事ヲヤリテハナラヌ

鬼胎

屯田六九ノ腸ヨリ生ルナリ
其胎ウヨリトキ必ズ心ヲヤブリ
ヤブリ出ス夫ナルガ故ニ月ノ
コトヒノテルガ如ナリ血ヲナリ出ヅ
必ズヤブリテ出シカタシ針
ナドヲアテヤブリ出スカヨシ
ソロ〳〵トアルノ物ナリ針ヲ
テヤウロ得ルアリ

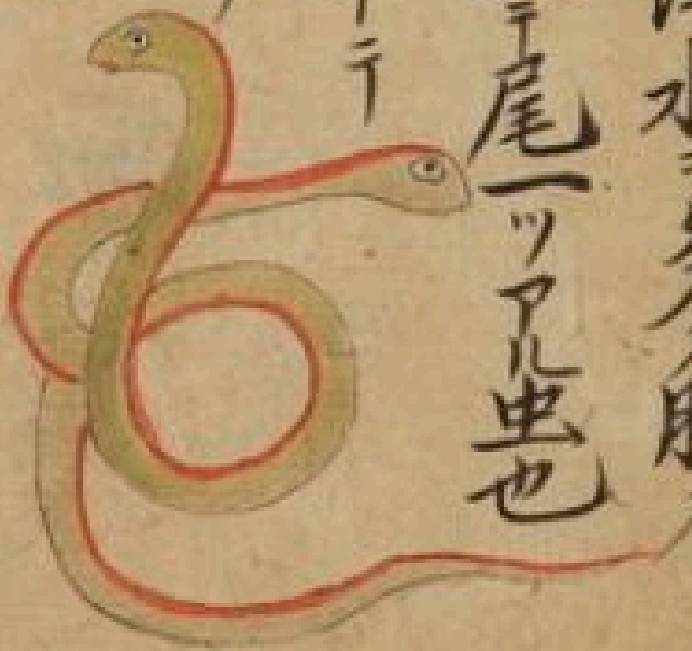
寸白虫

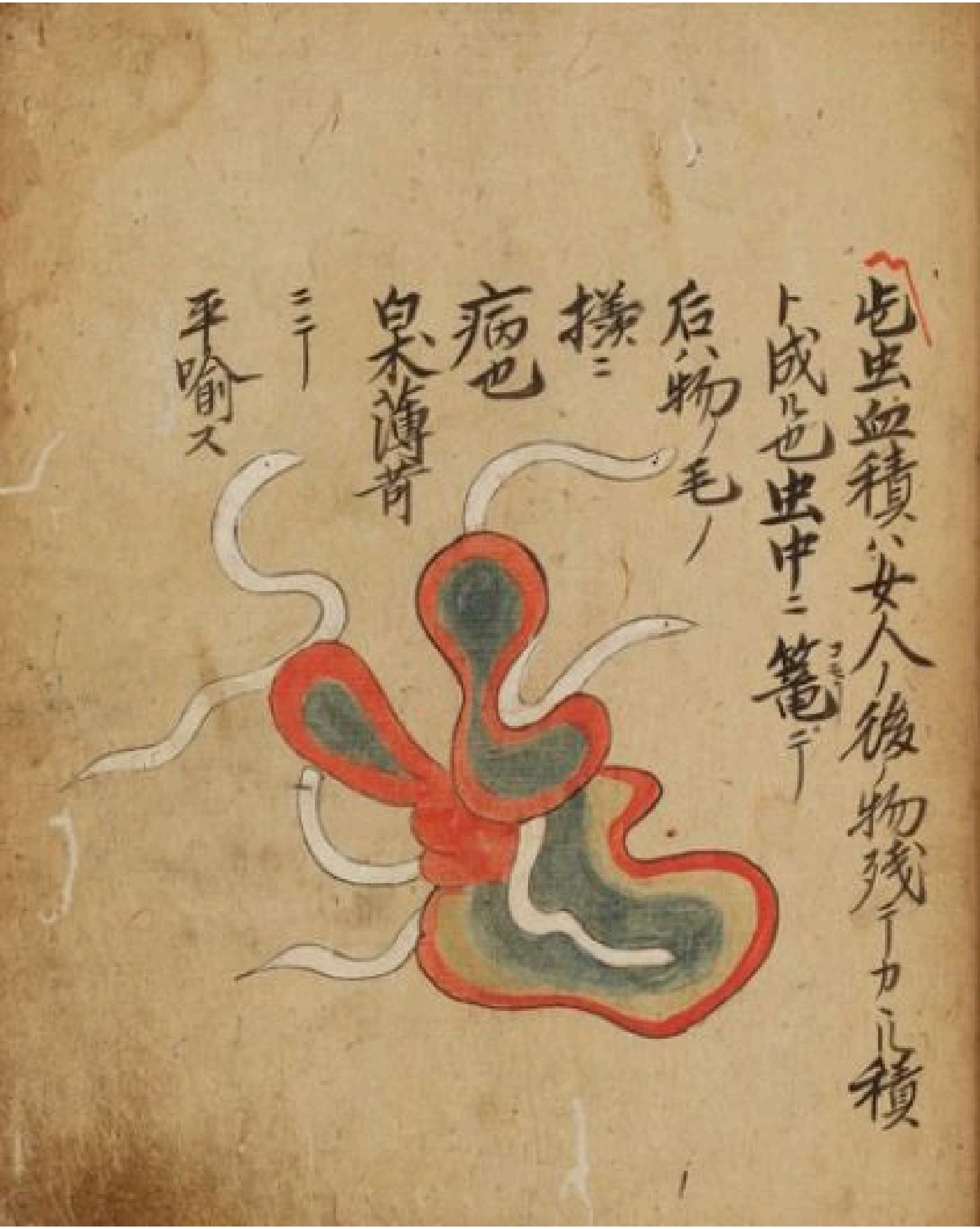


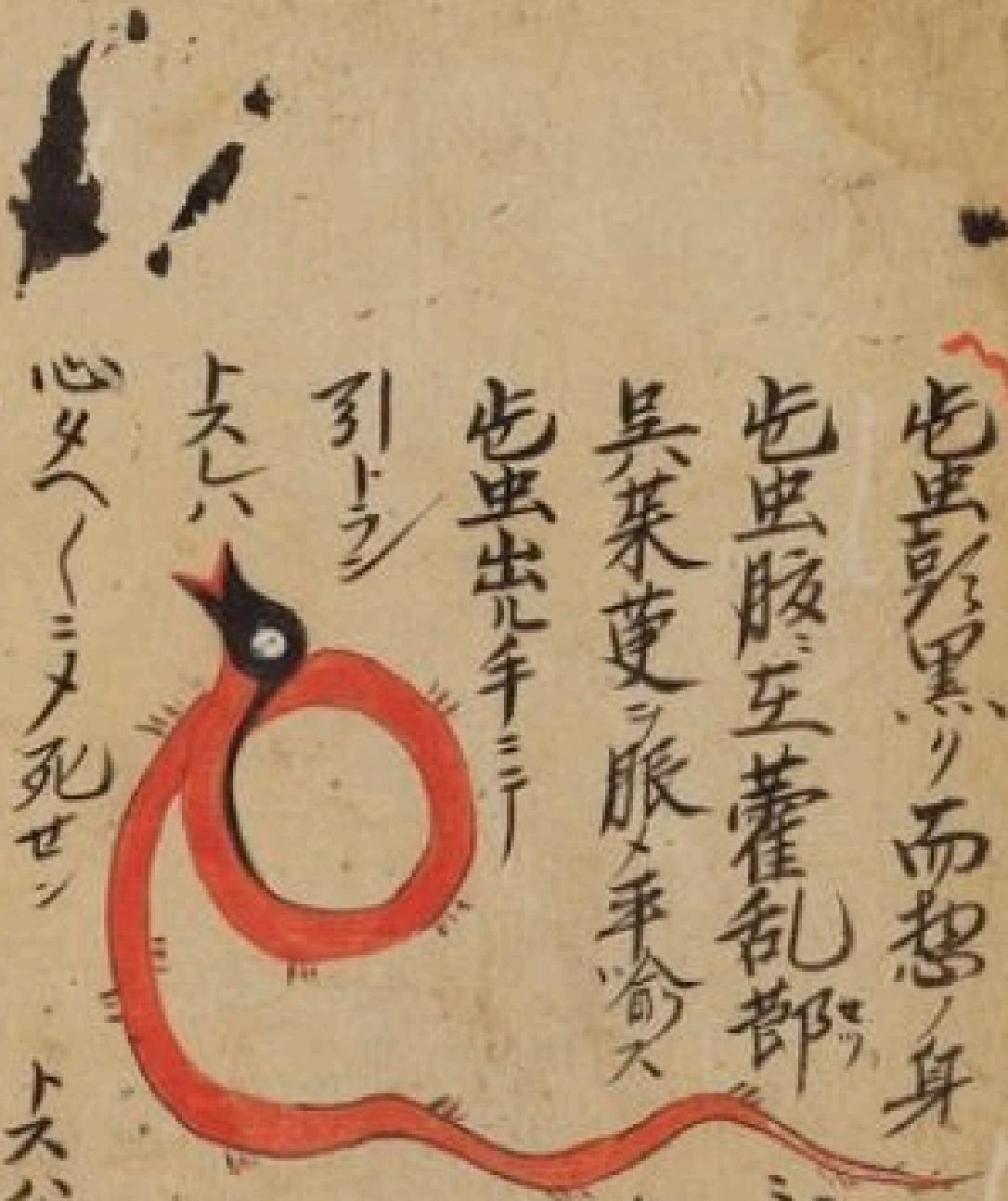
虫大シハ不ニカタクナリテ
アリ者ニハカリコトリテ三
ル時ハキンヘ入イタムルコトカキリ
ナシ一年ニ二度二度又月
一度程ヨコルハ針ヤカテキリ
ナリテ入シテクメコースカタメニ
ナルハナシカタシナリナカラ三ツ
ニ切タルモ長五六寸ニ切必ス
死スル也

肺虫 虻虫 飯ヲ食ス虫也 白朮葵
服テ十ノ虫消スル也
肺藏ニアリ
虻虫又股中
浮虫ヲヨシヘ
行ハ又人死ス也 人全ニモ変スル虫也

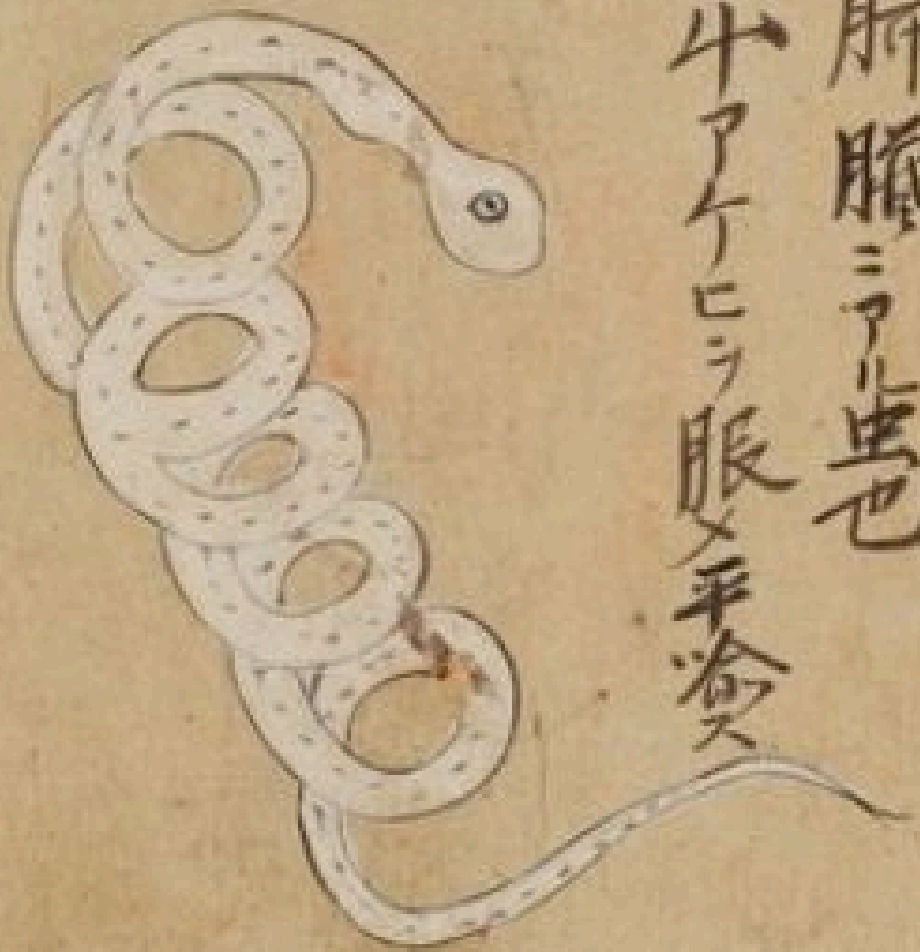
蚘虫今人湯水シタタノ脈ヲ
虫虫ヲ云テ尾一ツアル虫也
肝ニ寒キツイテ
動ハ心遠ノ
成虫也心ノ
臓ヨリシタル地黄脈ヲ則時平愈ス




虫血積ハ女人ノ後物残テカ
ト成ルヲ虫中ニ篦(コヒ)テ
后物ノ毛ノ
撲ニ
癌也
梟薄荷
三ツ
平愈ス



虫黒ミ而想ノ身ハ赤ノ足アリ
虫肢ヲ互ニ攪乱部ヲ
異菜度ヲ脈ノ手合ス
虫出ル手ニテ
引トラン
トスレハ
心メ〳〵ニメ死セン
死ニテ后カヒラミレハ肝ニラベキテ不離車
前子木香ヲ等メ懸テニ十消也



虫出入ヲナスニ虫也スヱ物ヲヨーンテ
食ス肺脈ニアル虫也
舩底ヤアーヒヲ脈ノ手当ス

陰虫生虫男女和合ノ時
羌ヵル虫ヂリーカルカニテミイン
ラシラコルト学ミ云
ヂリ生虫ノ白ヨリ
シテ女人血ヨリ、
男ハ白キイシヲハリ色
ノ分色ミナ虫虫男ヂリ和合時
ヨリ白キ血ヨリ赤キ女人血
ヲハリ色口伝アリ

ミナ虫

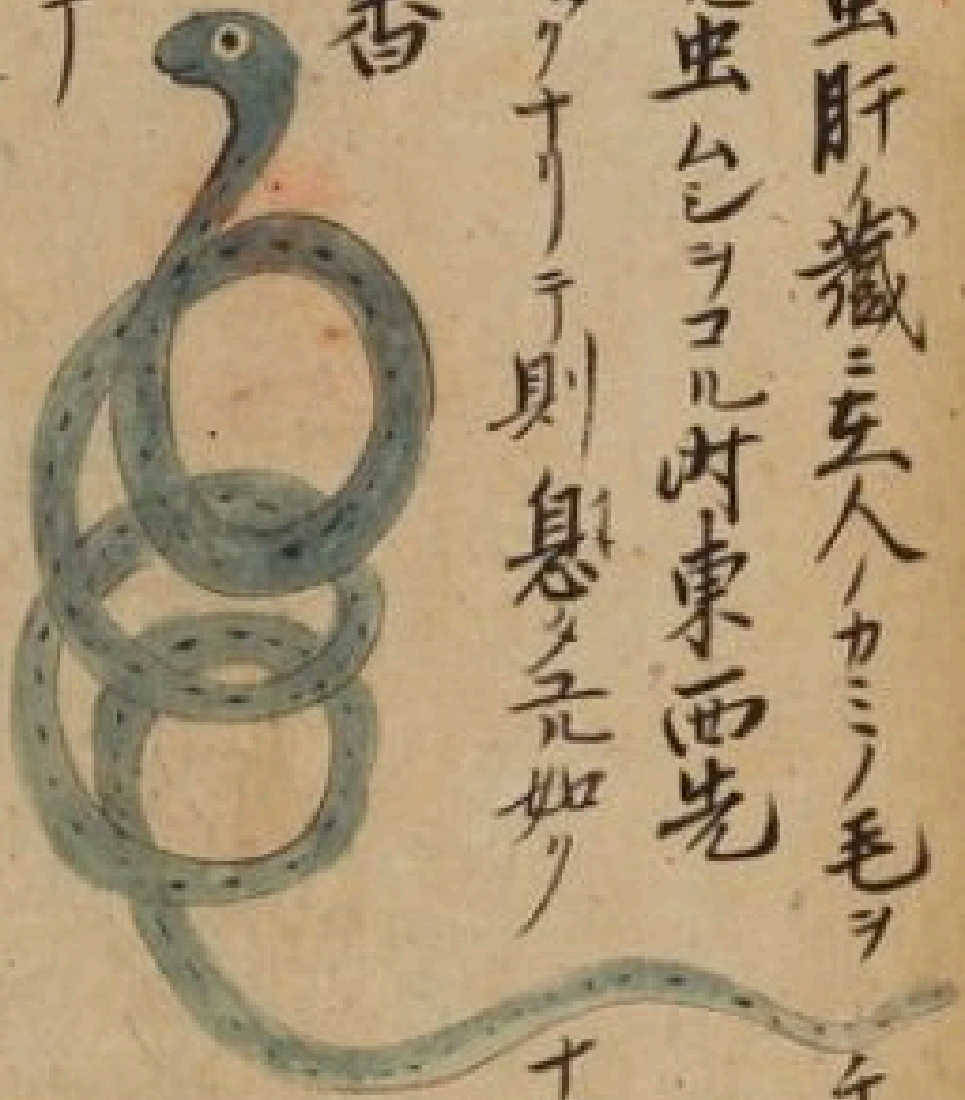
和合時赤

蛍ハ寸白ト云
腹ヲツツカメハ下ル
虫ニ毒有
槟榔子ヲ呑テ
皆消スル也

虫積ハ打血アツノヽツテ虫ノスル云フコトニ
不食スル虫病虫ノイハレ也腥キコト
常ニ在ル人

ヒ病アリ人衆ク益智仁ニテ平喰ス
ルヲノカウリーヘ

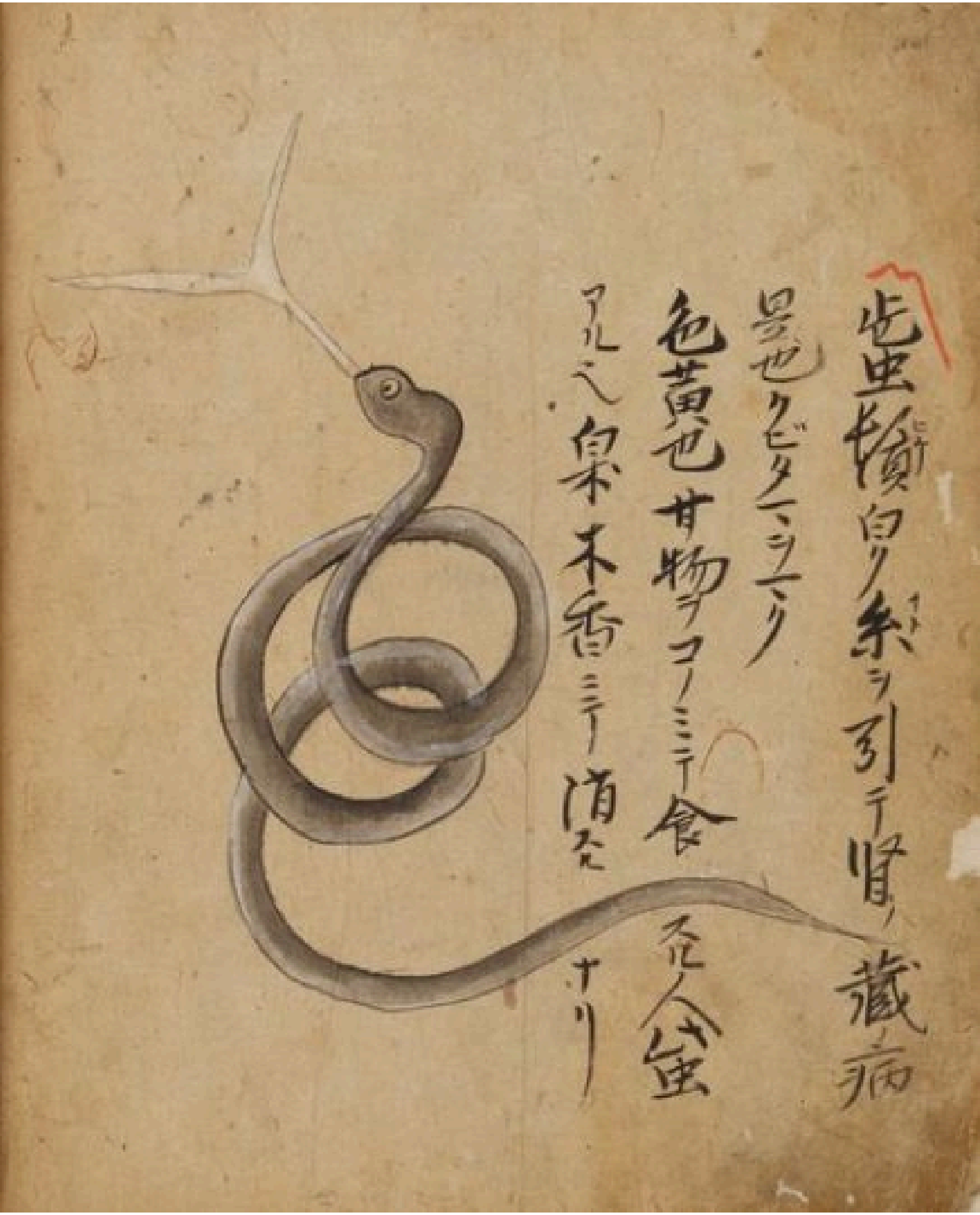
蛍肝藏ニ入ノカミノ毛ヲ
タル虫ムシヲコル时東西先
暗クナリテ則息ノ元如リ
五香
ニテ
平喰ス



人死テ后膀胱(ボウコウ)副(ソフ)ル虫アルヲ三
臓腑ニツカニ付ノ悪虫
ヒキラコシ草ヲ干ヤシメ服ス
ヨシ

虫袋ヘコトニアルクダサズンバアルベカラス 躯底牛 黄皮 センブリ カハ三両 カリツヽ

呑ハ虫下ル也

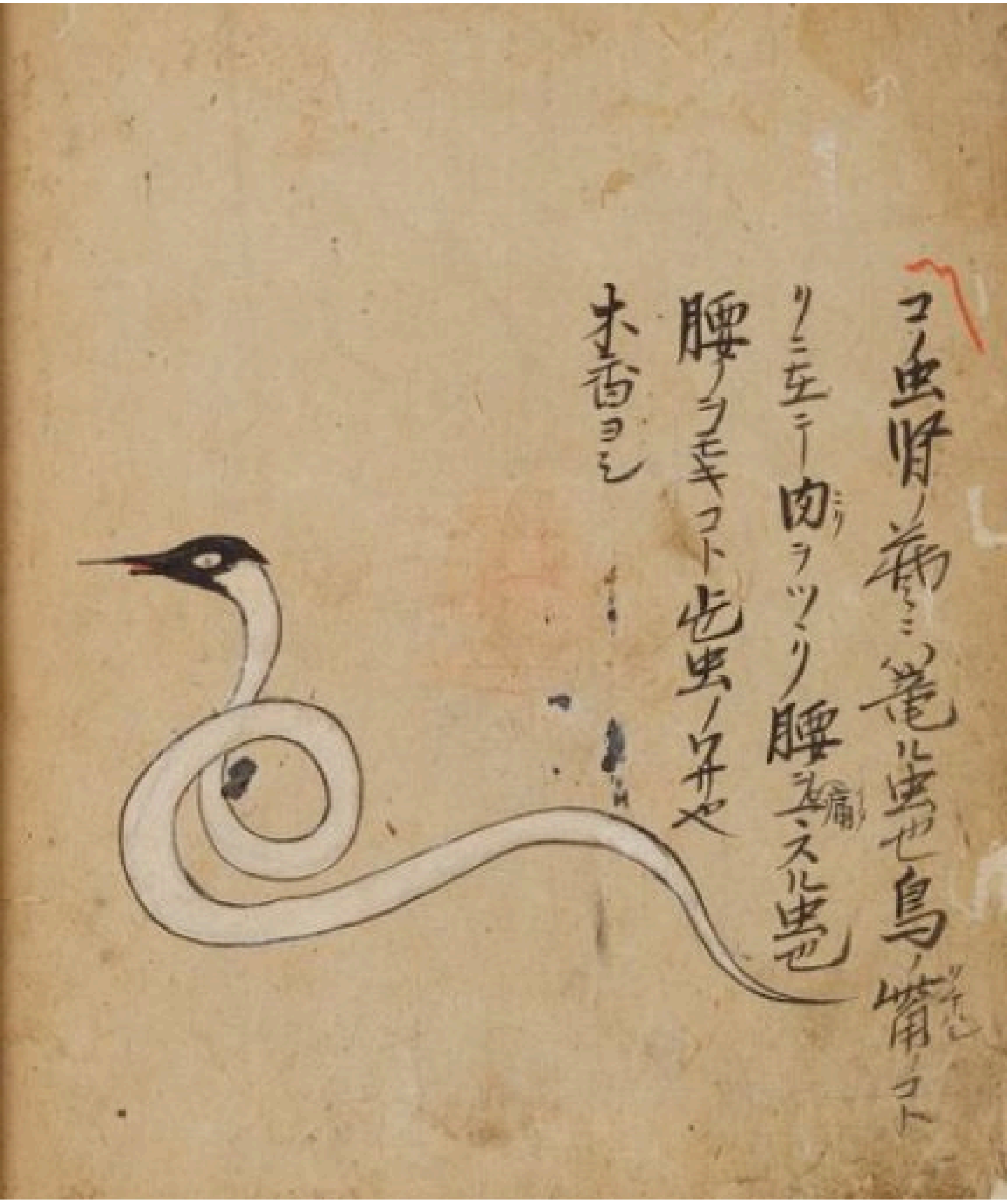


蛇虫長(たけ)一尺ヨリ一丈ニ至ル者ハ皆蔵(かくれ)ル
是ヲ見ル者ハ病ヲ生ス
色黄ナル者ハ甘物ヲ好ミ食ヲ
見レバ皆来ル木香ニテ消ス

蛇虫如蝮尾影モ手ノ類ヲ分ケ
ノコトシ蛇ありと必ズ死スシルシニ食
シテシルヲシリ好ム心未香薫香
ニテ平吟ス

大酒ノ人ノ死ノ後脳中ヨリ
碎ケ三ツ六赤キ虫ノ如キモノ出ル事アリ

鬼積算き名称すれモノ
防ノ出也飯ヲ食ス
時ハ汚スル也
一神ニ
豚ニ至テ薬ヲ
要豆ヲ食メ


コノ虫肝ノ病ニ能ク鳥ノ觜ノ如シ
リニ至テ内ラツツリ腫ル扁スル虫也
腫ノラモキコト虫ノ牙ノ
木香ヨシ

積聚是也肢ニ強ノ手ニ當テハ

虫鳴也（ル）驚甲ヲ

莫ノ字頂ケ也

先ヲ肺臓ヲ犯シ
終ニ鳥ノ如ク餓死ニ至
ルヨリアワレ少シモ一時
ニ此ノ内ヌケキカノ心ヲ病ノ
人ニ知ラセヨ
云也

ハウレロノ七ノ推ヨリ脇腹ノ虫
肝ノトヲリニ
テ
類ヲルヤリ
胃種ト
是ヲ云利
ヲモイスレハ
出ル也ナエッ病
トヲ是ヲ云不食スル病也 木香人参ヲ服メ平
愈ス

無積ヲ車前子ニ脈ノ

咳治ヲ白朮ニ脾ノ藏ニ病

蜘蛛ヲ令人為瀬ヶ山ヨリ出ス人
庚申ノ
夜出テ枕ノ
下ノ契ニテ
閻王大王ニ申ス
庚申ノ夜
千年ヲ六
千年ノチヲ待ヒ云也

死スト云也

愚虫接人（餘食ス
脾萩ニ至ル
末香服メ吐清スル也

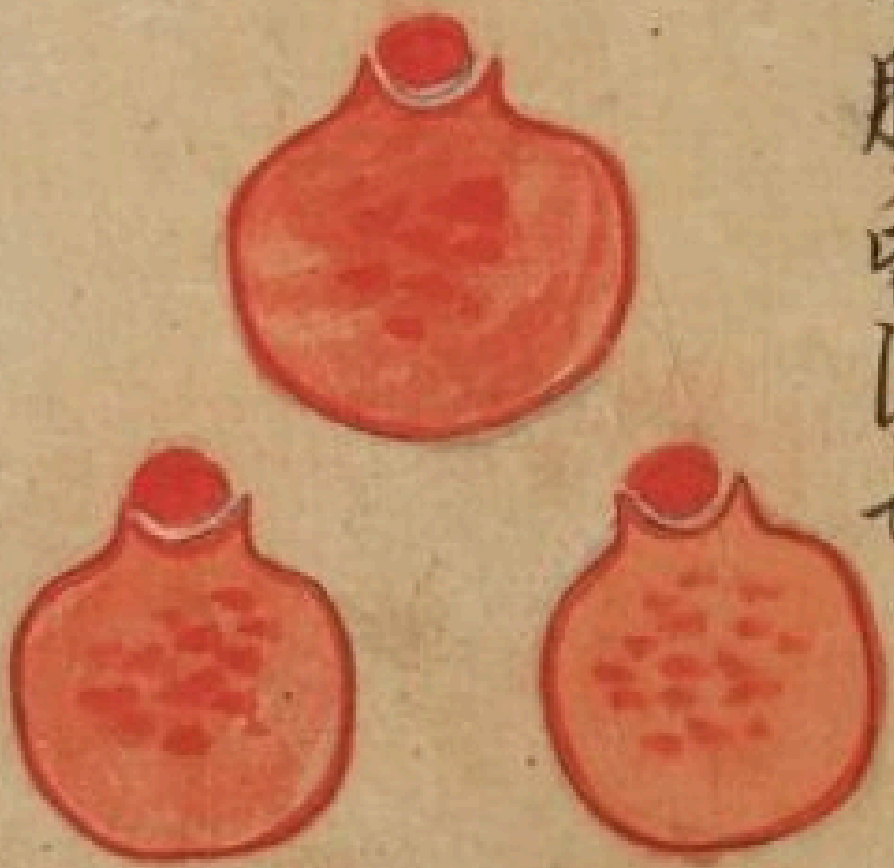
寸白虫肝ノ膵ノ後ニ於ル虫也大豆虫也

某ノ肩部ヲトニロト成テ身ノ内ヲツツ

ハノ形ニ黄毛馬ノ尾ヲイカニモ細刻テ

ノ様ニ丸テ能酒ニテ洗テ(ハ虫消ル)

出血肉積ヲ如ク水ヲ食ト欲ス
大黄ヲ服メ時消ル也



大病ノ后胃ニ府ヲ生リ酔テ見ル
血積也
縮ル事メ
カヲテ
留消
スルナリ

尸虫内ニ虫コモリテ有ㇾ時ハ動ク也
アカザヲ食ニメノ皆消ル

上白ノ堅リ血ヲメ、リタル也中ニ栗虫
ノコトクナル虫四五アリ

薫陸香ノ葉カケテ
悪ノ家ニ入ル也

ハ虫肾ヲ左手人ノ中ヘスリツケ
多ク服スレハ常ニ脇ノ痛ヲ治ス

虫頭平ノ尾ニ白キ
糸ヲ引名虫也
肝ノ蒸ヒクイツク
時食
死ス也
木香ニテ消ス也

蛇虫ハ毒ウト云虫毒ヲ刀ノカラ
物ヲ云也笠ヲキテ笑シウケ
ヲハキシテヒヤー白リ
トウハヘヒノクトシテ甘酒ヲ
ナカシ
コノムシヤ

也病ハケイ積ト云物也脇ニカツフノコトリ

ハイニワツテ

蔕ト府ヲ二キヨメテ一人ニトル也野豆ニテ

呑酒スルナリ

萬年ニ曼也人死テ后肱ノ肉ヲ食
シテ老ヒ筭年ヲ延ル
又一名

陰気昼夜人物ノ
身ヨリ出テ出ツ入ツスルヤウ
イル内ハ心モウロウトシテ
人ノ物イフヲト心ニイラズ
暗処ヘユクヘシ一時ノ
間ハ心トメヒカヒ
ヤリ

也虫黒蛇ト云郭ヨリ
半分白クアル虫也虫
腎ノ薬ニシタク有シハ耳ヲキカズ
ウイキヲウニテ平愈ス

身半分黒ク

鬼虫耳ニ有心ノ義ニ立ル小ヲ
名物ヲコーミアメ立ルモーヲヲ
常ニ豚ハルコトノ虫ノ弁也
梟
蕎麦
ミミヅク也

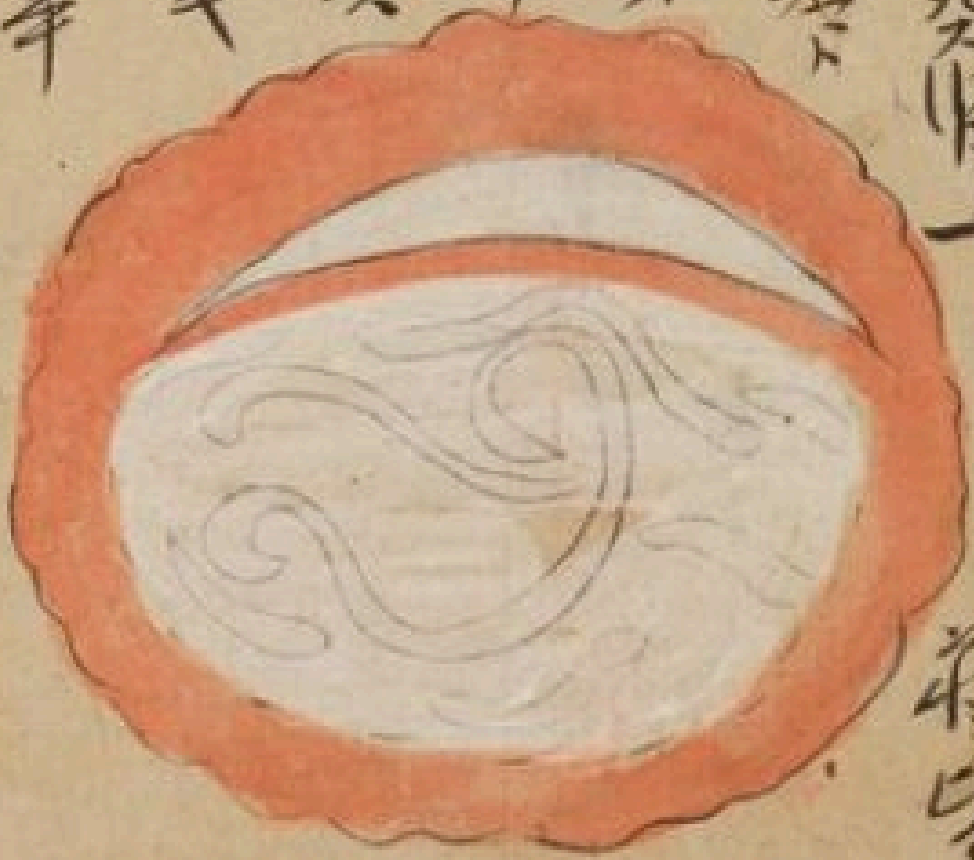
ムサ
ミズ

虫虫薬陽称シテ身ナッ
水ヲ脈ニ風ヲ ニキナトシテ
虫物コラエス人ラカセ父ミリカル
カルガエニアニリスリ人ノ色、
悪、
ス心、
イロナリ
人参甘ナヨシ
スルニニニ
出ス虫也

宿虫心ノ形ニ似タリ　今アリヒラズ　心虫ト名ク
玄ノ字ノ名ク虫ノ分ナリ
春ノ虫消ズ也

カツキ草ニ無ク

虫ヲ己ハ人ヲセラメラス身冷ヒハ
ヒ虫ヲ生ヒル也

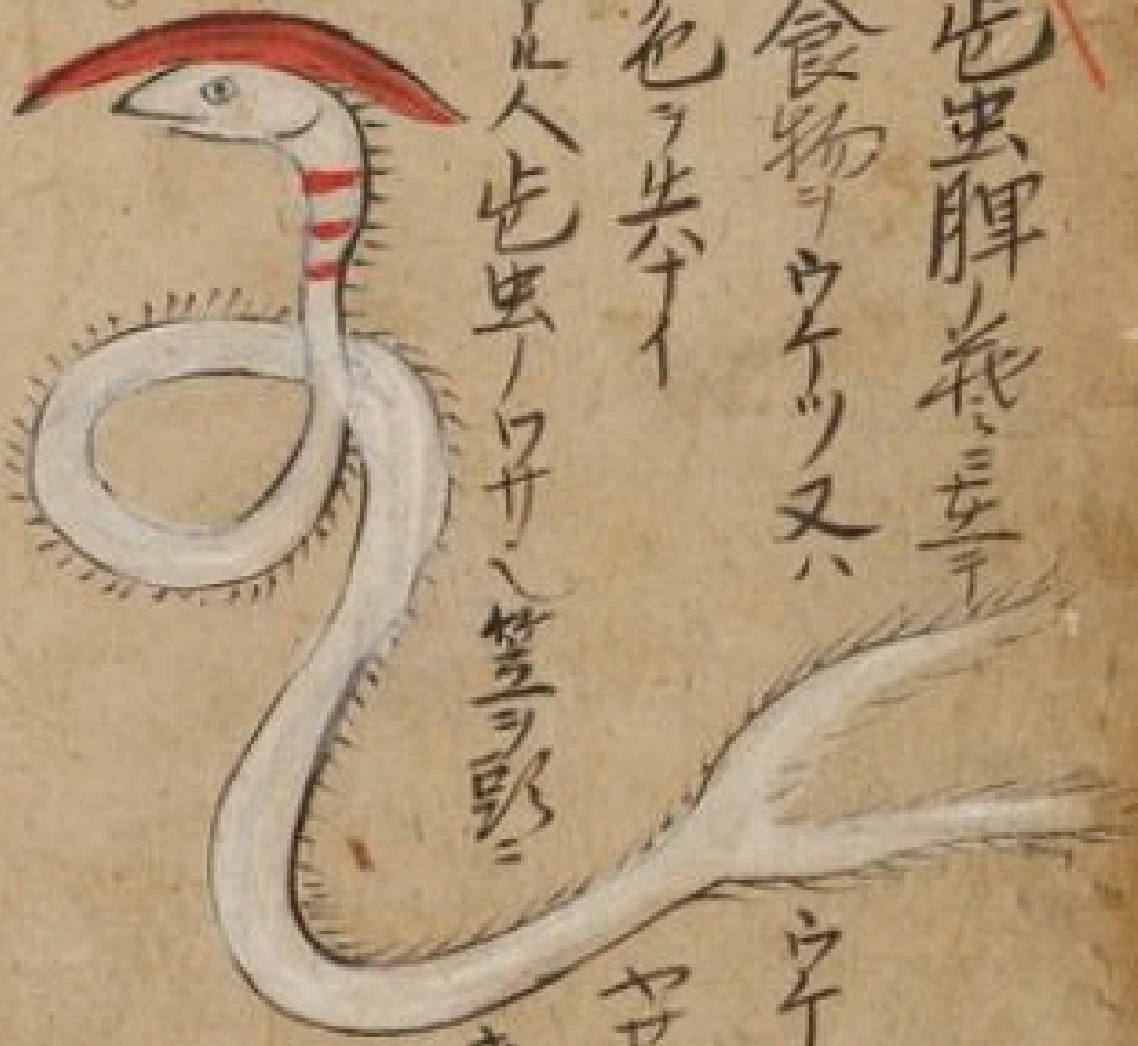


笠ヒヨヲ云大熱ノ人ニ五ルイカニモ

塩昔ノウスキ物ヲ好

千姜コセウヨシ

九虫五色有虫
ノ生トスルナリ
聚テ脾中
ヨリ又蛊



虫胆ノ義ニテ
食物ヲケツ又ハ
色ヲ失ナイ
又人虫ノ口ヨリ入笠ヲ取ニ
ケツス人ノ
セツ肥ツ
キテ

身ニ赤キ毛生ヘタリ
胆メ平ラ高ス

阿魏ト我ボト

也里人物也人臉ノ
ヨウニテ左ノ
耳ヨリヤヽス肢コハリ足ノ
胸モトヨリ尻ニシリ出ツ
シリトキヤクノ如ク
本毛ナク腹ノ
平滑ス

気積黒色赤黒ニシテ油ケツシタル
テ食ト又食物ニ魚鳥ヲ食セサル病
分リ分リニクハ又粘ヲ分リ
ナル病ニ出ヨコル病ニ
虎ノハラクイテコノ
病消スルヤ

虫脾ノ藏ニ在テ人ヲ悩ス肝ニカキツク時ハ人せんジョスル也虫飢ル時ハ人ヲ食ス肝ニカキメハ死ヌ月ニイ身ホトヨル大黄ヲ服ノ虫消ス也

先病悪血アツマリテ心ヲサシ病
身ニアセ脇堅リ集ルヤウニシテ伏
アトヤムト
息ヤリ
ナシ是
犬病ト云
物ノ
葛粉
大黄ヲ
服メ是ヲシ

肺之藏之形

長一尺三寸許アリ

耳三四葉アリ

右ニ八葉アリ

七穴三毛アリ

其色白シ

一心之藏重量
四斤四両九匁
三葉右三葉
已上五葉アリ
三毛有胸ノ下ニ
活汗入ル穴アリ
其色赤也

一脾之臟重二
一斤二兩廣六
三寸長五寸
二枚也其父
黃芪

一肝臓 重量七両廣サ三寸
長サ五寸九分ニ三毛ホドヲ
右ニ四毛ホド已上
有リ其ノ大キサ

一腎ノ形ノ重ク斤二枚也

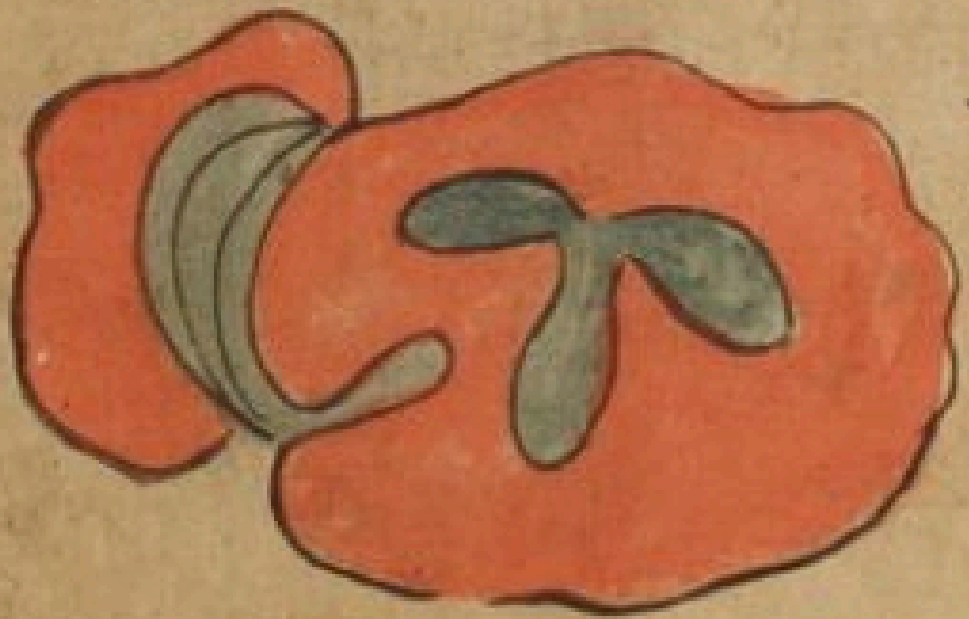
水ヲ通ズ外名義ヨリ

其色

黒也

一胃ノ腑異ナル物喙
長サ重量二斤
二両長サ二尺
六寸ヲ十二尺ニ寸
ニ分リ五寸ヲ分リ
三乗ニ当ル有
云ニ

一上焦如霧（ケムリ）ノ含（フクム）ム
也（ナリ）府（フ）ノ形（カタチ）也飲（インヲ）ヲ上焦
中焦不焦也
是（コレ）傳（ツタフ）ヲ焦
五藏（ゾウ）六府也



水腫ト云病ハ悪水ト血
悪食ト出アイテ
ナル病ヲリルシテ病
ヲリル食物ヲ
ニシトロ骨ト皮
ヨリ成テ肉ハヒテ
死ヌルヲリ養性
ヲ専ラ白朮茯苓陳皮
枳実ヲシ

積虫ト書ヲ云スチラカブル

中気アリ人ニ虫ノ付也

虫也 秀考

陳皮 大黄 人参ヨシ

噫三焦六府也蓋三焦並六府心
小腸肝膽腎胞膀胱脬
右肺大腸脾胃命門
三焦ノ府是ナリ
命門腎内物也

大勝府重量三斤
十二両長サ
五尺
油ハ十二
油也上量
二八魚受
テ胸骨
アリ尺二八
三尺二寸ヲ
大勝魚ノ寸
水ヲ受ル形
名ヲ受ル上ニ

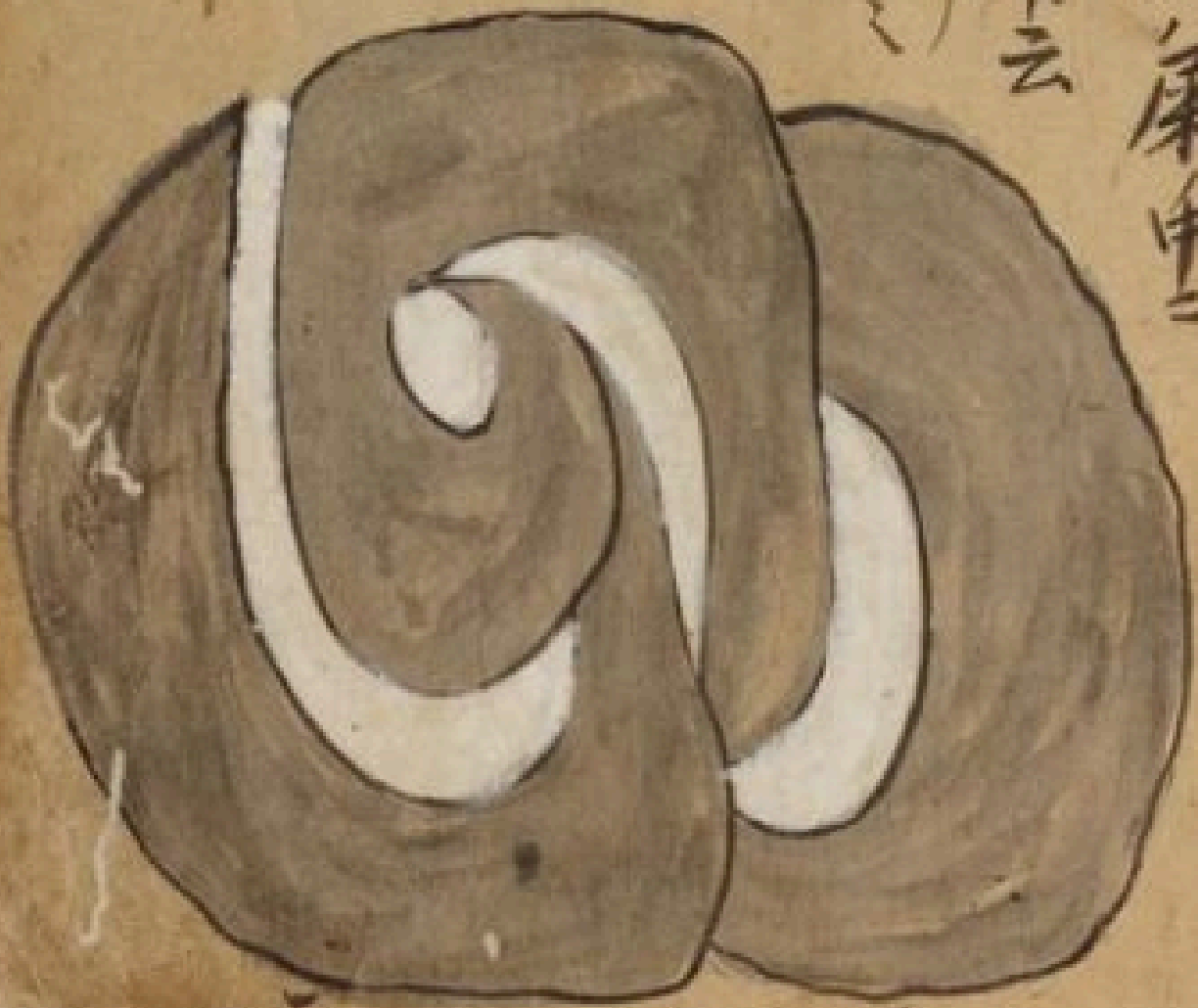
膀胱ノ腑重量九両三朱横九寸也

先膀胱ノ属中ニ

尿ヲ棄ト云

小便ヲ溜ル

腑也



臓之連成
魅也

五臓心月輪

五臓別形也

一大腸ノ腧ニ穴オ十二ノ椎ノ下ニ去ル一寸半腰痛腹鳴腸鳴オノ
メクリキリ痛大便カタク利セス強面腫ル

一小腸ノ腧ニ穴オ十八ノ椎ノ下ニ去ル一寸半小便赤シブリオノ
下痛足腫ケ血モロ〳〵ヨシ

一膀胱ノ腧ニ穴十九椎ノ下ニ去ル一寸半腰脊足冷

一腎ノ腧ニ穴二十一ノ椎ノ下ニ去ル一寸半脊腰痛小便結ブリ

一長強穴腧ノ下カメキノ中ニ血上腫腰痛

一二十一小腸此腸ニ穴ヲ一肾ノ左ノ傍ニ各一ツアルヨリ
オ十三ノ椎ニアワハレテオ十五ノ椎ナリ

一偶論

一五腑トウキワシミ云ホソ脾ノ病ニホソノ上ウコクハ心ノ病ホソミアタリテウコクハ胆ノ病也ホソノ左ウコクハ肝ノ病也ホソノ下ウコクハ胃ノ病

一五腑ノ気ヲ以テ脈ノ診

一頭ノ病ハ肝ノ気ニ頭痛ハ心ノ臓ナリ

一耳メマイハ肝ノ臓也面赤ハ心ノ臓ナリ

一面青キハ肝ノ臓也青ミ赤キハ心ノ臓ナリ

一眼精ハ肝ノ気ニ舌ノ苔ニ心ノ臓ナリ

一眼ノ黒白ノ変ハ肝ノ気也右カワリハ心ノ臓ナリ

一三十ノ病ハ肝ノ臓ニ咽カワリハ心ノ臓ナリ

MATTHEW MEYER WWW.YOKAI.COM

© Matthew Meyer www.yokai.com

© Matthew Meyer www.yokai.com

© Matthew Meyer www.yokai.com

© Matthew Meyer www.yokai.com

© Matthew Meyer www.yokai.com